



2023年度 事業報告書



HAT 神戸・灘の浜プロジェクト

公益財団法人 神戸 YWCA

目次

YWCAの使命（ミッション）	3
事業報告	
I. 平和・人権事業（「平和と人権センター」所管）	4
世界・社会委員会	
環境・くらし委員会	
ユース・エンパワメント委員会	
＜グループ＞	
愛農人倶楽部	
声の奉仕	
讃美歌を歌おうかい	
聖書を読む会	
ジェンダーグループ	
ピース・ブリッジ	
文学講座	
平和活動グループ	
マザースカレッジ企画会	
夜回り準備会	
解散グループ（わいわい科学クラブ、アフタヌーン・ティー、現代史勉強会いもづる）	
II. 総合サポート事業（「総合サポートセンター」所管）	17
神戸YWCAまごの手	
（居宅介護支援事業、訪問介護事業、居住支援事業、生活支援わいわい）	
神戸YWCA保育園	
神戸YWCAつどい場	
カフェもぐもぐ	
ちやいやあらんど	
わいわいダイルーム	
木曜カフェ	
解散グループ（わいわい食事会）	
III. 多文化共生事業（「多文化共生センター」所管）	28
神戸YWCA学院	
（日本語コース、日本語教師養成コース、外国語コース、文化教養コース）	
多文化共生ボランティア部	
IV. 活動共通事業	32
運営委員会	
定期会員集会準備会	
指名委員会	
会員委員会	
キリスト教基盤委員会	
HAT神戸・灘の浜プロジェクト	
V. 広報・ファンドレイジング	38
機関紙編集委員会	
ファンドレイジング実行委員会	
施設貸与	
VI. 法人	40
理事会	
監事	
評議員会	
会勢報告	
2023年度公益財団法人神戸YWCA組織図／評議員・理事・監事・運営委員・職員	
決算報告書	
監査報告	

YWCAの使命（ミッション）

第33回総会期 日本YWCA全国会員総会決議

主題聖句 平和を実現する人々は幸いである
—マタイによる福音書5章9節—

ビジョン

女性がリーダーシップを発揮し、人権・平和・環境を大切にする社会

ミッション

若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます。

バリュー

1. キリスト教基盤
すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方に倣って行動します。
2. 平和・環境
アジア・太平洋戦争の反省から生まれた平和憲法を活かします。すべての「核」を否定し、軍事基地を含む暴力のない公正で持続可能な社会をめざします。
3. 人権
人種・国籍・宗教・性・出自・年齢などの多様性を互いに尊重し、ジェンダー平等のもとで誰もが自分らしく生きることができる社会をつくりまします。
4. セーフ スペース
会員（ボランティア）が主体的にプログラムを推進し、すべての活動を、多世代協働によって民主的に運営します。常に誰にとっても安全安心な空間をつくり、誰もがエンパワーされる場とします。

神戸YWCA ビジョン
一人ひとりが大切にされる社会

神戸YWCA ミッション
多種多様な「つながりづくり」によって、
個と集団をエンパワーする。

神戸YWCA 2023年度活動目標
つながりの意味を深め、共に動こう

事業報告

(2023年4月～2024年3月)

I 平和・人権事業（「平和と人権センター」所管）

「人権を擁護し、非暴力による平和な社会の実現を目指す事業」「青少年の人間性を涵養し、生涯学習を推進し、より良い社会の形成に資する人材を養成する事業」を中心に実施していく。

世界・社会委員会

●活動方針・活動目標

人権、非核、政治、経済、憲法、居住、ジェンダー、メディアリテラシー、地方自治、民主主義、働き方などをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

日本市民社会の民主主義を見直す～日本の「民主」社会は外国人とどう生きているのか

代表：野村春美

メンバー：4人

職員：西本玲子

●活動方針・活動目標

目標：外国人と共に生きるより良い日本の姿を考える。

●活動報告

今年度も引き続き「外国人と共に生きるよりよい日本を考える」を目標に、在日韓国人や在日外国人に関する法や制度を知り、問題は何かを考えていくことにしたが、特に、今年度のテーマを「入管法」に決定した。6月、「出入国管理及び難民認定法」改正が、国会で可決されたことから、改正案について、メンバーで調べ、共有し、何が問題なのかを話し合った。8月、元入管職員の木下洋一著『入管ブラックボックス』が発売されたが、この本を皆で読み、入管法や入管の現状についての学習を深めた。その中で、多くの人に入管の現状・問題について知ってもらいたいと、1月、著者の木下洋一さんを講師に迎えて「なんでこんなことになってんねん入管～入管に民主主義=法の支配はある？」を開催した。

10月パレスチナ・イスラエル戦争が勃発。長年パレスチナ問題に関わってこられた映画監督・古居みずえさんからの、ガザの状況を知ってほしいとの要請に応じて、12月、特別企画として映画「ぼくたちは見た～ガザ・サムニ家の子どもたち」の上映会を平和活動グループとの協働により開催した。

●活動実績

開催日	ミーティング (神戸YWCA会館および オンライン)	主な議事内容など	参加 人数	延参加 人数	平均参加 人数
4月10日	第1回ミーティング	今年度のスケジュール・企画について	6	56	5
5月22日	第2回ミーティング	活動について	6		
6月15日	第3回ミーティング	「ウィシュマ・サンダマリ～入管の闇に消えたスリランカ女性」(25分)「外国人収容所シンドローム」(17分)ビデオ鑑賞と意見交換	4		
7月8日	第4回ミーティング	ビデオ「ワタシハニンゲンダ」を各自鑑賞して意見交換、今年度の方針と活動と方針	6		
9月2日	第5回ミーティング	宿題「入管法」各自発表、講演会と講師について	5		
9月30日	第6回ミーティング	オンライン講座講師決定、講師著書の「入管ブラックボックス」を読む	5		
10月26日	第7回ミーティング	オンライン講座スケジュール・講師への依頼内容・役割分担	6		
11月6日	第8回ミーティング	オンライン講演会講師との打ち合わせ、内容の確認、広報先の確認	6		
11月27日	第9回ミーティング	オンライン講座広報	6		
12月16日	第10回ミーティング	オンライン講座広報、当日役割	6		

●実施プログラム等

開催日	プログラム・イベント名 (場所など)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
12月2日	緊急映画会 「ぼくたちは見た ～ガザ・サムニ家の子どもたち」 (神戸YWCA会館)	長年パレスチナ問題に関わってきた 映画監督・古居みずえさんの要請に 応えて開催。	協力：古居みずえ ドキュメンタリー 映画支援の会	26
1月20日	なんでこんなことになってんねん入管 入管に民主主義=法の支配はある？ (オンライン)	2021年春、ウイシュマさんの入管施設内 での衝撃的な死亡事件起きた。なぜ民主 主義国家の日本でこんなことがおきたの か、「入管ブラックボックス」著者で、 元入管職員の木下洋一さんに聞く。	木下洋一	37
延参加人数 (全2プログラム)				63

環境・くらし委員会

●活動方針・活動目標

SDGs (持続可能な開発目標)、原発、温室効果ガス、ゴミ問題、プラスチック、農業、哲学カフェ、生と死、ローカルコミュニティ、防災、DIY、おひとりさまなどをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

神福のはしごプロジェクト

代表：岩切幸子

メンバー：4人

職員：西本玲子

●活動方針・活動目標

目的：セカンドハウス・プログラムは、日本YWCA「com7300 特別委員会」の活動方針に沿って今年度も実施する。コロナ禍も落ち着き、リフレッシュプログラム(保養)に参加する家族が戻ってきている。変化する状況を見据えながら、これまでのつながりを活かし、互いに励ましあう関係を深めたい。そして、神戸と福島の新たな関係づくりにつなげていく。

●活動報告

2023年1月から11月まで、認定NPO法人「いわき放射能市民測定室たらちね」の「たらちね防災プロジェクト」オンライン講座に神戸YWCAから6人が参加。3人が福島現地訪問をし、委員会の中で報告を行った。また、2022年度と2023年度受講者のブラッシュアップのための大阪研修も実施され3人が参加した。たらちね主催の内部被ばく調査のための尿中セシウム検査にも参加協力した。

セカンドハウス・プログラム(放射能被災下に生活する家族の一時保養)は、コロナも落ち着き、夏と冬に5家族、参加者21人、累計28日の滞在であった。中には、旧セカンドハウス(西明石)からのリピーターもあり、子どもたちの成長ぶりや家族の変遷を知ることができた。「たらちね防災プロジェクト研修」で改めて保養の意義を再認識し、今後も継続していくことの大切さを実感している。

そのたらちねに協力いただき、オンライン講演会「今の福島を知る」を10～11月に3回シリーズで実施し、延べ71人が受講。内容は、満田夏花さん(国際環境NGO FoE Japan 事務局長)による「処理水? 汚染水? どちらが本当?」、柴崎直明さん(福島大学共生システム理工学類教授)の「汚染水は止められないの? 地質からみる止水とは」、藤田操さん(認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね/たらちねクリニック院長)の「原発事故後12年の歩み～測り続ける理由」。私たちがいかに知らない、見ていないかを改めて気づかされた講座だった。

●活動実績

開催日	ミーティング (オンライン)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
4月5日	第1回委員会	たらちねプログラムによるいわき訪問報告、 23年度具体的な活動計画検討	6		

5月17日	第2回委員会	助成金提出報告、たらちねプログラムに参加した感想共有、23年度具体的活動計画検討	5	40 (全8回)	5人
6月7日	第3回委員会	助成金報告、たらちねプログラムをベースとした講演会企画の検討(たらちねスタッフを交えて)、セカンドハウス予定確認、キックオフミーティング報告内容	7 内、たらちねスタッフ 2		
7月5日	第4回委員会	オンライン講演会企画の検討(日程、内容、講師、広報など)、セカンドハウススケジュール確認	5		
7月27日	第5回委員会	オンライン講演会企画の検討、セカンドハウスでの役割分担など	4		
8月17日	第6回委員会	オンライン講演会企画(講師との打ち合わせなど)、夏のセカンドハウスの振り返り	4		
9月14日	第7回委員会	オンライン講演会(最終確認、タイムスケジュール、役割分担、広報など)	4		
12月21日	第8回委員会	オンライン講演会振り返り、たらちね尿中セシウム検査、冬のセカンドハウス役割分担、23年度報告および24年度計画作成、福島訪問報告	5		

●実施プログラム

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	参加人数	神戸YWCA 参加人数
7月29日～8月1日	住吉セカンドハウス (神戸市東灘区)	福島およびその近隣県の放射能被災下にある家族の保養受け入れを実施。 ①出迎えとお見送り ②交流 ③出迎えのための準備や滞在後の片付け・清掃	4	5
8月3日～9日			5	5
8月11日～14日			5	2
8月15日～18日			4	3
12月27日～1月4日			3	5
延参加人数(1プログラム/全5回)			21	20

開催日	プログラム・イベント名 (全てオンライン)	テーマ・主な内容	講師・主催団体等	参加人数
10月19日	オンライン講演会① 「今の福島を知る」	処理水？汚染水？どちらが本当？	満田夏花 (国際環境NGO FoE Japan事務局長)	登録43人 第1回29人 第2回24人 第3回18人
11月2日	オンライン講演会② 「今の福島を知る」	汚染水は止められないの？ ～地質からみる止水とは～	柴崎直明 (福島大学共生システム理工学類教授)	
11月16日	オンライン講演会③ 「今の福島を知る」	原発事故後12年の歩み ～測り続ける理由～	藤田 操 (認定NPO法人いわき放射能市民測定室 たらちね/たらちねクリニック院長)	
9月22日	講師との打ち合わせ	講演会1	満田夏花	メンバー5
9月28日	講師との打ち合わせ	講演会3	たらちね事務局	メンバー6
10月5日	講師との打ち合わせ	講演会2	柴崎直明	メンバー5
延参加人数(1プログラム/全3回)				参加71人

●他団体主催プログラムへの参加

開催日	プログラム・イベント名	テーマ・主な内容	講師・主催団体等	参加人数 (神戸YWCA)
6月～11月	たらちね防災プロジェクト 「女性のための防災」オンライン 研修および現地プログラム	地震、津波、原発事故の 複合災害の現場での体験から 学び、現在に生かす	認定NPO法人いわき放射能 市民測定室たらちね	4

1月20～21日	大阪研修	たらちね主催研修参加者同士の活動交流など	上記と同じ	3
23年12月	尿中セシウム測定	たらちねが定期的に行う、内部被ばく検査のための尿中セシウム測定に参加	上記と同じ	4

ユース・エンパワメント委員会

●活動方針・活動目標

多世代協働、多世代エンパワーメント、音楽、芸術、体験的教育、演劇などをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

こどもいいんかいプロジェクト

代表 : 木村文子

おとな委員 : 3人

こどもいいん : 3人

職員 : 西本玲子

●活動方針・活動目標

目的: 子どもの「やりたい」を、形・プロジェクトにする。思い描いたプロジェクトを遂行するためには何が必要かを自ら考え行動をする。子どもは問題提起と解決方法の力をつけ、次世代を担う力をつける。おとなは子どもからの発信に刺激を受け協働できる関係を目指したい。

目標: 小学校高学年から中高生に向かうユースの女性たちの成長を応援する。

●活動報告

ミーティングは不定期開催で2カ月に1回程度実施した。

今年度は「RISE UP (ライズ・アップ)」を学ぶ機会を得たいと考えていたところに、大阪YWCAのユースが企画運営する「RUSV(Rise Up! School Visits)」プログラムの存在を知り、参加することを決定した。こどもいいんかいのこどもいいんたちにも「RISE UP」に学び触れる機会につなげることができるかを考えた。神戸YWCAからは、こどもいいんかいメンバーである現役の学生が参加、学生以外のメンバーも1人が傍聴参加した。大阪を中心に2箇所の中高生向けにワークショップを行い、大阪YWCA文化祭と神戸YWCA定期会員集会午後プログラムで発表の機会を設けた。同年代のメンバーと性教育について話し合ったり、中高生に向けて性教育を発信することについて考えるなどの経験を経て多くを学んだ。学生たちとの関わりをこれからも続けたい。

一方で、小学生中心のこどもいいんが積極的に活動する企画「ユースボランティアプログラム」は、家庭と学校以外の社会に触れるきっかけづくりとして神戸YWCAの内での活動に留まった。

こどもいいんを増やし、共に活動できる人員確保が難しく、まだ複合的な活動の基礎やリソースを作っていくことが必要と感じている。

●活動実績

開催日	ミーティング (全て神戸YWCA会館)	主な議事内容など	人数 (こども)	人数 (おとな)	延参加 人数	平均 参加 人数
5月15日	第1回ミーティング	今年度の活動について		4	20 (全5回)	4
7月12日	第2回ミーティング	RUSVについて報告と情報共有		4		
9月20日	第3回ミーティング	RUSV 情報共有		3		
10月11日	第4回ミーティング	2024年度のプロジェクト計画案		4		
1月7日	第5回ミーティング	こども〇〇プロジェクト顔合わせ		5		

●参加プログラム等

開催日	プログラム・イベント名 (場所など)	テーマ・主な内容	講師名等	人数 こども	人数 おとな
6月25日	なだのはま・わいわいバザー (なだのはまエイト)	わいわいバザー運営のお手伝い		1	1

2023年5月 ～2024年 3月	大阪YWCA主催 「2023年度RUSVインターン」 への参加 (オンラインなど)	RUSVの趣旨に賛同し、性教育、ジェンダー、セクシュアリティに関心のある方で、おおむね25歳ぐらいまでの方と、中高生を対象としたワークショップを企画、実施する。			2
3月9日	定期会員集会午後プログラム (神戸YWCA会館)	午後プログラムにおいて 大阪YWCAのRUSVプログラムを紹介	永嶋里香 (大阪YWCA)	運営委員会報告へ	
延参加人数 (全3プログラム)				1	3

グループ

愛農人倶楽部

代表：大石知世子

メンバー：3人

●活動方針・目標

完全無農薬有機栽培の野菜づくりを通して、土に触れ、自然を知り、収穫した野菜を食べることによって、いのちの大切さを知る。また、協働で作業することにより、人との交流を楽しむ。

●活動報告

昨年度と同様に月1回、第2日曜日を定例会で実施。野菜の植付け収穫の時期ではなく人間の都合中心になっているが、予定を考える必要がないので楽であった。コロナの規制緩和でマスク着用自由、人と人とのディスタンスや消毒等各自の自由とし、少しずつコロナ前の作業に戻ってきた。今年は幼い頃より畑に親子で参加されていたお子さんが中学生になり、一人で参加したり幼馴染を連れてきたり、またコロナでなかなか参加できなかった別の家族のメンバーのお子さんが友人を連れて親子で参加したりと、活動を通して子どもたちの成長を感じた。野菜は神戸YWCAの繋がり種苗生産会社の方にかぼちゃ、メロン、スイカの種をいただき、成長と収穫を楽しんだ。苺を収穫してみんなで食べるのができたのは嬉しかった。来年度はもっと収穫物を料理してみんなで食べる機会を増やしたい。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸市北区道場・風キャビン農園)	テーマ・主な内容	参加人数
4月9日	第1回定例会	じゃが芋の世話、人参種蒔き、よもぎ採り、大根収穫	6
5月21日	第2回定例会	かぼちゃ、西瓜、メロン種蒔き、じゃが芋追肥、苺収穫、草刈り苺肥料やり	7
6月18日	有志で作業	安納芋苗植付け、メロン、かぼちゃ、西瓜追肥、草刈り、赤紫蘇収穫	1
8月13日	第3回定例会	暑いため、メンバーの時間の都合で早朝参加組と夕方参加組に分かれて作業。 メロン、かぼちゃ収穫、夏野菜の世話、草刈り	6
9月29日	有志で作業	夕方作業。ご近所の畑付近の草刈り、かぼちゃ、青紫蘇収穫	1
10月8日	第4回定例会	カボチャ収穫、かぼちゃの蔓抜き、草刈り、ご近所さんよりいただいた大根と蕪の苗植付け	5
10月26日	MOGMOGキャビン豊年祭	餅つき、ピザ焼き、新米炊き出し、汁物等食と農を楽しむ	4
11月12日	第5回定例会	雑草抜きと整地、玉葱苗(赤玉葱、黄玉葱)植付け、大根、蕪間引きと追肥	5
12月17日	第6回定例会	大根、蕪収穫と残り追肥、玉葱追肥、肥料をすき込んでの畝づくり	5
1月7日	第7回定例会	大根、蕪収穫、残り追肥、玉葱追肥、大根、蕪収穫後の肥料をすき込んで整地	5
3月10日	第8回定例会	じゃが芋(男爵、メイクイン)種芋植付け、玉葱追肥、苺肥料やり	5
延参加人数 (全11プログラム)			50

声の奉仕

代 表 : 河上婦志子、山崎恵

メンバー : 8人

●活動方針・目標

視覚障がい者のための朗読奉仕活動を行う。技術向上のため月1回、講師による朗読の学習、指導を受け、所属している兵庫県声の図書赤十字奉仕団を通じ、各種図書の録音・編集・デジタル化などしたものをリスナーに発送。

●活動報告

毎月第4火曜日13時から16時まで神戸YWCA会館で定例会を開催して、録音図書の選択・構成・分担などを話し合い、兵庫県声の図書赤十字奉仕団（以下、声の図書奉仕団）での担当ごとの決定事項や活動を報告した。例会後、講師の酒井茂樹さんの指導のもとで朗読力の改善のための勉強会を、講師欠席の時は発声練習や音読の自主勉強を行った。3月から酒井さんに替わり岩佐光世さんを講師として迎えた。メンバーの能力向上のために、神戸YWCA会館や日赤兵庫県支部で音読・録音・編集の個別の研修会を実施した。

声の図書奉仕団で分担している役割遂行のために、各自会議に出席して会合や作業に従事し、声の図書奉仕団主催の校正や読みの勉強会に参加した。

声の図書奉仕団発行の「声のアルバム」の「花時計」「つちのこ」「PHP」などの録音・校正・編集の作業に従事した。また独自の単行図書「本日のメニューは。」の完成のための録音作業にも励んだ。実施プログラムは100以上、延べ人数は300人以上におよぶ。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、日赤兵庫県支部)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月2日	運営委員会	引継ぎ／活動方針検討		3
4月11日	点字班例会	勉強会・作業		1
4月21日	単行図書検討会例会	単行図書の検討		1
4月22日	声の図書奉仕団総会	活動方針決定		7
4月22日	声の図書奉仕団本部役員会・運営委員会	引継ぎ		3
4月25日	第1回定例会（神戸YWCA会館）	報告・活動方針		6
4月25日	定例勉強会（神戸YWCA会館）	朗読勉強会	酒井茂樹	6
5月1日	デイジー班ミーティング	声のアルバム編集作業		1
5月8日	デイジー編集	声のアルバム編集作業		1
5月8日	IT班例会	会議・作業		1
5月9日	点字班例会	勉強会・作業		1
5月17日	朗読・音訳を見直す会	定例会		1
5月19日	単行図書検討会例会	単行図書の検討		1
5月23日	第2回定例会（神戸YWCA会館）	担当者からの報告		8
5月23日	定例勉強会（神戸YWCA会館）	自主勉強会		8
5月28日	声の図書奉仕団本部役員会	活動方針検討		1
6月4日	声の図書奉仕団本部役員会・運営委員会	活動方針決定		3
6月13日	点字班例会	勉強会・作業		1
6月16日	単行図書検討会例会	単行図書の検討		1
6月27日	第3回定例会（神戸YWCA会館）	勉強会教材 声のアルバム発行について		8
6月27日	定例勉強会（神戸YWCA会館）	朗読勉強会	酒井茂樹	8
7月3日	デイジー班ミーティング	声のアルバム編集作業		1
7月10日	IT班例会	会議・作業		1
7月11日	点字班例会	勉強会・団員向け体験会		1
7月19日	朗読・音訳を見直す会	定例会		1
7月21日	単行図書検討会例会	単行図書の検討		1
7月25日	第4回定例会（神戸YWCA会館）	担当者からの報告・活動方針検討		6
7月25日	定例勉強会（神戸YWCA会館）	自主勉強会		6
7月30日	声の図書奉仕団本部役員会	活動方針検討		1
8月6日	声の図書奉仕団本部役員会・運営委員会	活動方針決定		3
8月18日	単行図書検討会例会	単行図書の検討		1

9月4日	デイジー班ミーティング	声のアルバム編集作業		1
9月11日	IT班例会	会議・作業		2
9月12日	点字班例会	勉強会・作業		1
9月15日	単行図書検討会例会	単行図書の検討		1
9月20日	朗読・音訳を見直す会	定例会		1
9月24日	声の図書奉仕団本部役員会	活動に関する打ち合わせ		1
9月26日	第5回定例会（神戸YWCA会館）	担当者からの報告		7
9月26日	定例勉強会（神戸YWCA会館）	自主勉強会		7
9月29日	IT班例会	会議		1
10月1日	声の図書奉仕団本部役員会・運営委員会	活動方針決定		3
10月1日	交流会検討委員会	交流会の検討		1
10月8日	単行図書検討会例会	単行図書の検討		1
10月10日	点字班例会	勉強会・作業		1
10月18日	交流会検討委員会	交流会の検討		1
10月20日	単行図書検討会例会	単行図書の検討		1
10月24日	第6回定例会（神戸YWCA会館）	担当者からの報告		6
10月24日	定例勉強会（神戸YWCA会館）	朗読勉強会	酒井茂樹	6
11月6日	デイジー班ミーティング	声のアルバム編集作業		1
11月13日	IT班例会	会議・作業		1
11月14日	点字班例会	勉強会・作業		1
11月17日	単行図書検討会例会	単行図書の検討		1
11月22日	朗読・音訳を見直す会	定例会		1
11月26日	声の図書奉仕団本部役員会	活動方針決定		1
11月28日	第7回定例会（神戸YWCA会館）	担当者からの報告・担当変更について		8
11月28日	定例勉強会（神戸YWCA会館）	自主勉強会		8
11月30日	声の図書奉仕団読みの勉強会	見直す会主催「読みの勉強会」		6
12月3日	声の図書奉仕団本部役員会・運営委員会	活動方針決定		3
12月3日	交流会検討委員会	交流会の検討		1
12月12日	点字班例会	勉強会・作業		1
12月15日	単行図書検討会例会	単行図書の検討		1
12月21日	IT班例会	会議・作業		1
12月24日	声の図書奉仕団臨時役員会	交流会の検討		1
12月26日	第8回定例会（神戸YWCA会館）	担当者からの報告		8
12月26日	定例勉強会（神戸YWCA会館）	朗読の勉強会	酒井茂樹	8
1月5日	声の図書奉仕団臨時役員会	運営に関する検討		1
1月8日	デイジー班ミーティング	声のアルバム編集作業		1
1月9日	点字班例会	勉強会・作業		1
1月19日	単行図書検討会例会	単行図書の検討		1
1月23日	第9回定例会（神戸YWCA会館）	担当者からの報告		8
1月23日	定例勉強会（神戸YWCA会館）	自主勉強会		8
1月24日	朗読・音訳を見直す会	定例会		1
1月28日	声の図書奉仕団本部役員会	活動方針検討		1
2月4日	声の図書奉仕団本部役員会・運営委員会	活動方針決定		3
2月4日	交流会検討委員会	交流会の検討		1
2月13日	点字班例会	活動報告・活動計画・勉強会		1
2月16日	単行図書検討会例会	単行図書の検討		1
2月19日	声の図書奉仕団校正の勉強会	見直す会主催「校正の勉強会」		4
2月27日	第10回定例会（神戸YWCA会館）	担当者からの報告		7
2月27日	定例勉強会（神戸YWCA会館）	「つちのこ」担当箇所の勉強	酒井茂樹	7
3月4日	デイジー班ミーティング	声のアルバム編集作業		1
3月10日	声の図書奉仕団臨時役員会	運営に関する検討		1
3月11日	IT班例会	会議・作業		1
3月12日	点字班例会	勉強会・作業		1

3月15日	単行図書検討会例会	単行図書の検討		1
3月20日	朗読・音訳を見直す会	定例会		1
3月26日	第11回定例会（神戸YWCA会館）	2024年度計画・担当者報告・総会の件		7
3月26日	定例勉強会（神戸YWCA会館）	朗読の勉強会	岩佐光世	7
3月31日	声の図書奉仕団本部役員会	活動方針検討		1
	グループ研修	計7回		22
	録音・編集	計11回		28
延参加人数（全107プログラム）				304

讃美歌を歌おうかい

代表：中尾廣美、大工原則子

メンバー：2人

●活動方針・目標

讃美歌に親しみ、共に楽しく歌う。

●活動報告

6月から（8月を除く）毎月、参加者で共に讃美歌を歌ってきた。奏楽者から曲の解説を聞き、ピアノ演奏も聞かせていただいた。恵まれた時を過ごすことができた。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
6月1日	第1回 讃美歌を歌おうかい	頌栄 讃美歌 21より 24、37、81	橋本静子	5
7月6日	第2回 讃美歌を歌おうかい	礼拝 聖餐 讃美歌 21より 63、81、86、87 讃美歌 21より 4、6、7、11、18	橋本静子	3
9月7日	第3回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌 21より 430、433、434、436、438	橋本静子	6
10月5日	第4回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌 21より 441～445	橋本静子	5
11月2日	第5回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌 21より 228～247	橋本静子	5
1月18日	第6回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌 21より 527～532	橋本静子	6
2月1日	第7回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌 21より 492～497	橋本静子	4
3月7日	第8回 讃美歌を歌おうかい	次年度の話し合い	橋本静子	3
延参加人数（全8プログラム）				37

聖書を読む会

代表：中尾廣美、大工原則子

メンバー：2人

●活動方針・目標

聖書の学びにより、イエス・キリストの愛と平和が広がるように願う。

●活動報告

6月から会をスタートした。集まった時は聖書を輪読して自由に話し合いの時をもった。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
6月1日	第1回 聖書を読む会	今後の活動についての協議		4
7月6日	第2回 聖書を読む会	キリスト教基盤委員会との協議		3
9月7日	第3回 聖書を読む会	ヨハネによる福音書 1章～5章		3
10月5日	第4回 聖書を読む会	ヨハネによる福音書 6章～7章		3
11月2日	第5回 聖書を読む会	ヨハネによる福音書 8章1節～59節		3
1月18日	第6回 聖書を読む会	ヨハネによる福音書 9章1節～12章		4
2月1日	第7回 聖書を読む会	ヨハネによる福音書 13章～16章		3

3月7日	第8回 聖書を読む会	ヨハネによる福音書 17章1節～26節	2
延参加人数 (全8プログラム)			25

ジェンダーグループ

代表：斎藤明子

メンバー：4人

●活動方針・目標

誰にでもある、ジェンダーへの疑問や思いを肩ひじ張らずに素直に語り合い、学べるような活動につなげたいと考えている。その過程を通じ、自分への気づきから始まり、さまざまな機会が性別の有り様にかかわらず平等に与えられ、共に支え合って生きていける社会づくりを目指す。

●活動報告

原則月1回オンラインでのミーティングを実施。

今年度前半は、元町映画館との共催で、性被害を受けた人たちが SNS を通じて告発する動きを追った韓国発のドキュメンタリー映画「AFTER ME TOO」の上映を実施した。告知不足により、集客数の目標達成はできなかったが、来場くださった方たちから、好評を得ることができた。

このグループからの発信について考えた。女性が日常生活で感じるジェンダーへの思いや気づきを出し合える場としてのフリーペーパーを、6月と11月の2回発行した。

12月に、つどい「ここでは ゆっても ええんちゃう」会を実施し、初めてメンバーが対面で話し合った。各々、一押しの本を持ち寄り、普段なかなか話せないジェンダーの話を自由に話し合った。3月23日、メンバー森恭子さんの発題でオンライン勉強会「誰かの世話をするのは女性の仕事？～ケアの倫理から考える」を行った。女性がケアの部分を担当してしまうことをジェンダーの視点から学び語り合った。より深めるべきテーマであるので、続編を企画中。

今後もジェンダーについて考える場づくり推進していきたい。この意味で、今年度はこの目標に向けて進めていった。

ピース・ブリッジ (Peace Bridge)

代表：寺澤京子

メンバー：4人

●活動方針・目標

- ・他団体、グループと協力して、平和構築活動を進める。
- ・学習会などを行い、学び、語り合う。

●活動報告

「学び語り合い つながる会」(第13回)を、5月27日午後、喫茶エスポワールで開催した。テーマは「演劇と平和」。前田英利さんが朗読や歌を通して、平和の大切さを表してくださった。「学び語り合い つながる会」(第14回)を、9月30日午後、喫茶エスポワールで催した。テーマは「旅のノートから～時間とみずうみ」。奥田莉奈さんに、南米ボリビアへの一人旅で感じたことを語っていただいた。「音楽をとおして平和を考える会～歌に込められた想いをつなぐ」を、11月26日午後、神戸学生青年センターで開催した(神戸YWCA平和活動グループ、神戸学生青年センター協力)。ジャズグループ「奈良雅美と陽気な女たち」の歌、飛田雄一さんのオカリナ演奏、大和泰彦さん(歌)のビデオ参加、皆で歌う時間など、多彩で有意義な会になった。「学び語り合い つながる会」(第15回)を2月18日午後、喫茶エスポワールで催した。テーマは「パレスチナの平和を願って」。大阪YWCAの宮崎祐さんに語っていただき、「ガザの子どもたちのために今、私たちができること」を話し合った。3月3日午後、神戸学生青年センターで「日本の女性運動史から見た平和への『責任』」のテーマで、マレイド・ハインズさんに語っていただき、参加者で話し合った(アイ女性会議ひょうごと共催)。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名(場所)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
5月27日	第13回 学び語り合い つながる会 (喫茶 エスポワール)	演劇と平和	前田英利 (劇団所属俳優)	8
9月30日	第14回 学び語り合い つながる会 (喫茶 エスポワール)	ボリビアへのひとり旅 「時間とみずうみ」	奥田莉奈 (NPO職員)	5

11月26日	音楽をとおして平和を考える会 (神戸学生青年センター)	歌に込められた想いを つなぐ	ジャズ(奈良雅美と 陽気な女たち) 飛田雄一(オカリナ演奏) 大和泰彦(歌/ビデオ参加) 協力:平和活動グループ 神戸学生青年センター	25
2月18日	第15回 学び 語り合い つながる会 (喫茶 エスポワール)	パレスチナの平和を願って	宮崎祐(大阪YWCA)	11
3月3日	日本の女性運動史からみた 平和への『責任』 (神戸学生青年センター)	1970~80年の女性運動 から、平和を考える	マレイド・ハインズ (コロンビア大学大学院) 共催:アイ女性会議ひょうご	20
延参加人数(全5プログラム)				69

文学講座

代表 : 中尾廣美

メンバー : 5人

●活動方針・目標

- ・文学、評論、思想などを先人の著書から学ぶ。
- ・清少納言の「枕草子」を完結まで読む。

●活動報告

毎月(8月を除く)第3火曜日13時30分より神戸YWCA会館で実施している。笠原芳光さん亡き後もメンバーで自主勉強している。今は清少納言「枕草子」を現代訳を参考に読み継いでいる。宮廷の優美な生活、やりとりや自然の移り変わりの美しさを学んでいる。コロナも終わりを告げ、もとのように続けている。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月18日	第1回文学講座	枕草子 272段~277段	メンバーで自主勉強	5
5月16日	第2回文学講座	枕草子 278段		5
6月20日	第3回文学講座	枕草子 278段		5
10月17日	第4回文学講座	枕草子 278段		5
11月21日	第6回文学講座	枕草子 279段~294段		5
12月19日	第7回文学講座	枕草子 295段~304段		5
1月16日	第8回文学講座	枕草子 305段~312段		4
2月20日	第9回文学講座	枕草子 313段~付22		5
3月19日	第10回文学講座	付23		4
延参加人数(全10プログラム)				43

平和活動グループ

代表 : 鶴崎祥子

メンバー : 4人

●活動方針・目標

- ・非核・非暴力の平和な社会をつくる
- ・若い人、関心のない人たちにも参加してもらえるような、プログラムを進める
- ・平和憲法を守る活動を継続する

●活動報告

コロナは解除されたが、今年は酷暑の夏が長く続いた。4月は上半期の確認をした。5月「おしゃべり会」では、ウクライナ戦争が続く中、「武力ではなく、対話による平和構築。アジアの平和を考えよう~ASEAN(東南アジア諸国連合)とは?」として、田中清史さん(神戸演劇鑑賞会)から、平和活動が成功しているASEANについて学んだ。7月は、問題噴出にもかかわらず政府が強行する「マイナンバーカード」について学習会をもった。9月は、影山あさ子さんの「気候変動とたたかう先住民~アメリカ・カナダ・アラスカ」現地映像レポート+トーク、11月はピースブリッジ主催「音楽をとおして平和を考える会」に協力、12月は世界・社会

委員会主催「ぼくたちは見た」上映会に協力した。そのほか、「戦争をさせない、9条壊すな！5・3兵庫憲法集会」（松尾貴史さんのメッセージ）、「今、統一教会を考える」（講演：鈴木エイトさん）に賛同・参加した。

4月から7月までは例会、学習会、おしゃべり会（一般向け学習会）と独自活動を続けたが、9月以降は協力活動だけになった。メンバーが少人数であることに加え、それぞれが多忙で当グループの活動に集中できなかった。

●活動実績

開催日	部会（場所）	主な議事内容など	参加人数	延参加人数	平均参加人数
4月26日	第1回委員会（神戸YWCA会館）	上半期の活動について	4	25 (5回)	5
6月14日	第2回委員会 (グリーンベリー・コーヒー)	5月3日憲法集会の報告、おしゃべり会担当決め	5		
7月26日	第3回委員会 (グリーンベリー・コーヒー)	おしゃべり会の内容検討 学習会「マイナンバーカード」	5		
10月17日	イベント準備 (神戸学生青年センター)	「音楽を通して平和を考える会」 予行練習	8		
1月3日	第4回委員会 (サンチカ喫茶店)	2024年度活動方向について 2024年度代表の件	3		

●実施プログラム等

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師・主催団体等	参加人数
5月21日	平和活動グループ&ピース・ブリッジ共催 武力ではなく、対話による平和構築 アジアの平和を考えよう。 ～ASEAN（東南アジア諸国連合）とは？～ (神戸学生青年センター)	ASEANについて学ぶ	田中清史 (神戸演劇鑑賞会)	11
延参加人数（全1プログラム）				11

●他団体主催プログラムへの参加

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師・主催団体等	参加人数 (神戸YWCA)
5月3日	5・3兵庫憲法集会 (みなとのもり公園)	憲法集会	講演：松尾貴史（コラムニスト） 主催：戦争をさせない、9条壊すな！ 総がかり行動兵庫県実行委員会	11
5月22日	改悪入管法案を廃案に！ (神戸市中央区)	入管法改悪案に 反対デモ	話：弘川欣絵（弁護士） 主催：市民デモHYOGO	1
6月24日	市民デモHYOGO学習会 原発は人権問題!? ～国際人権と被ばくを避ける 権利、そして私たちの闘い～ (神戸市中央区文化センター)	原発は人権問題	講師：久一千春 主催：市民デモHYOGO	2
9月17日	「気候変動とたたかう先住民 ～アメリカ・カナダ・アラスカ」 (神戸学生青年センター)	気候変動とたたかう 先住民	上映とトーク：影山あさこ (ジャーナリスト)	4
10月29日	今、統一教会問題を考える (神戸市立婦人会館)	統一問題を考える	講演：鈴木エイト（ジャーナリスト） 主催：統一教会問題対策市民会議など	3
2月25日	核廃絶ネゴシエーターの仕事 (兵庫県保険医協会)	核廃絶	講演：高橋悠太 (一般社団法人かたわら代表理事) 主催：非核の政府を求める兵庫の会	2
3月18日	非核「神戸方式」決議 49周年のつどい (兵庫県民会館)	非核「神戸方式」	講演：太田昌克 (共同通信社編集委員兼解説委員) 主催：日本中国友好協会兵庫県連合会	3
延参加人数（全7プログラム）				26

マザースカレッジ企画会

代 表 : 貫名裕子

メンバー : 7人

●活動方針・目標

- ・一人ひとりがよりよく生きるために、子ども、大人が本と出会うことを支援する。
- ・「ことばの力」「ひとが生きる糧」「人が育つ」をキーワードに、研究会を実施する。
- ・参加メンバーがそれぞれの場でリーダーシップを発揮できるように支援する。

●活動報告

長らく続いたコロナ禍もようやく落ち着き、マザースカレッジの活動も中止することなく開催できた。ストーリーテリング研究会（大月先生）は第4金曜日に神戸市青少年会館にて、ストーリーテリング研究会（芦田先生）は第4月曜日に兵庫県民会館交流プラザにて実施した。また真正塾も6月から第3日曜日（隔月）で再開され、4人のストーリーテリング研究会メンバーが担当している。3年の間に塾のスタッフも変更になり心配したが、活動のことを知っている人から塾へ連絡があり、順調に話が進んだ。長年の活動の歴史を感じた。一方、マザースカレッジはメンバーの諸事情が重なり、稼働人数がとても限られてきている。また、兵庫県民会館交流プラザが建て替えのため閉館することになり、神戸市青少年会館に変わることになった。

●活動実績

ストーリーテリング芦田先生研究会

開催日	プログラム・イベント名 (兵庫県民会館交流プラザ)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
5月22日	第1回	おはなし、詩実践、課題本『ホビットの冒険』	芦田悦子	20
7月31日	第2回	おはなし、詩実践、課題本『とぶ船』	芦田悦子	19
9月25日	第3回	おはなし、詩実践、課題本『ギリシア神話』	芦田悦子	20
11月27日	第4回	おはなし、詩実践、課題本『銀の腕のオットー』	芦田悦子	22
1月29日	第5回	おはなし、詩実践 課題本『ぼくとくらししたフクロウたち』	芦田悦子	23
3月25日	第6回	おはなし、詩実践	芦田悦子	22
延参加人数（全6プログラム）				126

ストーリーテリング大月先生研究会

開催日	プログラム・イベント名 (神戸市青少年会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
5月26日	第1回定例会	詩とストーリーテリングの実践	大月ルリ子	24
6月23日	第2回定例会	『魔法使いのチョコレート・ケーキ』 『トムは真夜中の庭で』『グリーン・ノウの子どもたち』	大月ルリ子	22
9月22日	第3回定例会	『ぼくとくらししたフクロウたち』 『元気なモファットきょうだい』『仔鹿物語』	大月ルリ子	24
10月27日	第4回定例会	詩とストーリーテリングの実践	大月ルリ子	23
11月24日	第5回定例会	『王への手紙』『第九軍団のワシ』『黒い兄弟』	大月ルリ子	23
1月26日	第6回定例会	詩とストーリーテリングの実践	大月ルリ子	26
2月16日	第7回定例会	『埋もれた世界』『ギリシア神話』『ホビットの冒険』	大月ルリ子	23
延参加人数（全7プログラム）				165

神戸真正塾

開催日	プログラム・イベント名 (神戸真正塾)	テーマ・主な内容	講師名等		参加人数	
			子ども	先生	子ども	先生
6月18日	おはなし会				7	3
8月20日	おはなし会				7	4
10月15日	おはなし会				7	4
12月17日	おはなし会				4	2
2月18日	おはなし会				3	1
延参加人数（子ども／先生別）					28	14
延参加人数(全5プログラム)					42	

夜回り準備会

代表：金本美子

メンバー：10人

●活動方針・目標

人権と平和の理念に基づき、対等な関係を引き続き追究し、実現したい。そもそも野宿したくない人が野宿をせざるをえなくなる根源を断つことも意識したい。物価高を上回る賃金の停滞、安保3文書等、悪化する社会の犠牲になる人がいなくなる社会を少しでも目指したい。

<方向性（暫定版）>

対等な関係を築き、常に、関係を問い直し、対象者が、解決したいことを抱えており、ご本人の意思決定が明確であり、夜回りが関わっていいならば、ご本人の意向を丁寧に聞き取り、自分たちのできる関わりの見定めをし、同意をとって協働すること。

●活動報告

2023年度4月から活動を停止。9月16日に、臨時ミーティング実施。

<活動停止について>

2022年度に、活動を継続するうえで、いくつかの課題に直面した。まず、実働できるメンバーが減ったことで、「夜回り」を定期的実施する体制を確保するのに四苦八苦した。メンバーが時間を分けてそれぞれ訪問というかたちで対応したこともあった。また、活動に対する見解について、メンバー間で意見がかみ合わないこともままあり、その調整にも労力がかかった。加えて、カーシェアの利用が増えたことなどにより費用がかさむ一方で、寄付金が減少したことで、資金面での課題も顕在化した。そういう状態が続く中で、野宿している人に関わる活動を続けるのは、相手に迷惑をかける恐れがあるため、メンバー内での話し合いの結果、2023年度4月以降は当面の間、活動を停止することを決めた。

●活動実績

開催日	プログラム名	テーマ・主な内容	参加人数
9月16日	グループ活動についての話し合い (オンライン)	活動の位置づけや会の方向性について、 メンバー同士での認識のすり合わせ	4
2月23日	グループ活動についての話し合い (オンライン)		3
延参加人数 (2プログラム)			7

<解散グループ>

●わいわい科学クラブ

・休会中であつたが今年度をもって解散する。

●アフタヌーン・ティー

・休会中であつたが今年度をもって解散する。

出会い、語り、交わり、そこから何かが生まれることを願って、楽しい集いの場をと、1997年3月、アフタヌーン・ティーは発足した。そしていろいろなアイデアが出て、多様なプログラムが生まれた。年5回のアフタヌーン・ティーは、その時々により良き講師が与えられ、関わりや取り組んでおられる課題や研究成果を語っていただいた。また、賜物を生かして、各人の技能を提供する多くのボランティア・メンバーによる協力もあり、続けることができたことを心より感謝する。

●現代史勉強会いもづる

・休会中であつたが今年度をもって解散する。

現代史勉強会いもづるは、1970年代に神戸YWCA会員・会友有志で結成された、近現代史や現代社会を学び合うグループである。毎月、多彩な講師を迎えたり自分たちで学びを発表し合ったりしながら、会を実施してきた。1987年には2冊、1990年には1冊の書籍をまとめ、世に送り出した。会名の「いもづる」は、戦時中、サツマイモの蔓を食べて飢えをしのいだ経験のあるメンバーが名づけた。芋づるに繋がって芋が次々と掘り出されるように、歴史の表面に現れないさまざまな真実を自分たちの手で発見し、次の世代へつなげていけたらという思いを込めて、半世紀もの間、会は続けられてきた。しかし各メンバーの事情が変わって活動の継続が難しくなり、2017年度から休会となった。再開を模索したものの、感染症拡大等があり厳しい状況となったため、2023年度をもって解散を決めた。関わって下さった多くの皆様へ心より感謝の意を表す。

II 総合サポート事業（「総合サポートセンター」所管）

「支援を要する人々を援助し、地域の福祉を向上させる事業」を中心となり実施していく。

神戸YWCAまごの手

所長 寺内真子

<居宅介護支援事業>

居宅介護支援事業所管理者 吉田好江（～7月）、福嶋佳子（8月～）

ケアマネジャー 吉田好江（～7月）、福嶋佳子

<訪問介護事業>

訪問介護事業所管理者 藤井かえ子

サービス提供責任者 藤井かえ子、山田司、松尾玲子、野村春美（パートタイム）

子育て支援コーディネーター 藤原道子

常勤ヘルパー 岸本裕美子（3月～）、加藤純子（3月～）

パートタイムヘルパー 青木直子（5月～）

事務パートタイム職員 湯朝律子、島村正

登録ヘルパー 新井育子、有富和子（～6月）、浦川喜代美、大前美紀（11月～）、大巻智子、奥乃恵美子、小野美津江、加東みどり、木村房代、久保田三鈴、斎藤美智、島村正、鈴木泰子、鈴木由希子、鈴木嘉一、高原佐美、竹内真理子、谷口真弓、成田光晴、成美久美、林和代（9月～）、福島光枝、前田豊子、松岡晴子、丸井和子、三木二三子、宮崎公子、宮田泰子、森本眞智子、守屋淑子、吉田里子

登録ヘルパー（同行援護従業者） 山下尚美、渡辺正彦、吉田好江（9月～）

登録ヘルパー（産前産後ヘルパー） 木村文子

（計 36 人）

<居住支援事業>

担当職員 寺内真子

ボランティア相談員 宮田泰子、岩切幸子、瀬戸昭、野村春美

<生活支援わいわい>

代表：川辺比呂子

運営委員：三浦啓子、宮田泰子

メンバー：15人

担当職員：塩見洋子

●事業方針・目標

<居宅介護支援事業・訪問介護事業・居住支援事業>

高齢や障害疾病等により支援を必要とする方々が、地域の中でその人らしい暮らしを継続するために、居宅介護支援（ケアマネジメント）や訪問介護（身体介護、生活援助）等のサービスを行う。また、子育て中の家族を支援するために、家事援助や育児支援を行う。居宅介護支援事業や訪問介護事業とも連携をはかりつつ住宅確保要配慮者に対する居住支援事業を行う。

- ・神戸YWCA総合サポートセンターの他の地域福祉活動と連携する。
- ・地域包括ケアを目指して、神戸YWCAの地域福祉活動、医療機関や行政、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、他団体、他事業所等と連携を強化する。
- ・利用者一人一人に寄り添い、切れ目のない支援を提供する。
- ・ニーズに応えられるよう、サービスの担い手となる人材を確保し、育成する。
- ・自費サービスなど、制度外のニーズに応えられるように体制を整える。

<生活支援わいわい>

神戸YWCAの理念に基づき、お互いの支え合いで気持ちの良い、心豊かな暮らしが過ごせる地域づくりを目指し、生活支援サービス活動を行う。

- ・サービス対象をYWCA会員・会友をはじめ、神戸YWCA関係者に限って活動する。
- ・利用者のニーズに応えられるサービス提供を目指す。
- ・サービス提供者の研修・交流を充実させる。

●事業報告

＜居宅介護支援事業＞

居宅介護支援事業は、7月末管理者が退職したことに伴い、8月1日から管理者を交代、ケアマネジャー（管理者兼務）1人体制となった。居宅介護支援は月平均26.8件、介護予防支援（委託）は月平均6.4件であった。

＜訪問介護事業＞

訪問介護事業は、5月にパートタイム職員1人を採用、また3月には常勤職員2人を採用し、増員となった。常勤職員6人、パートタイム職員2人、登録ヘルパー等35人が、介護保険事業と障害者総合支援事業の他、障害者地域生活支援事業の移動支援、神戸市委託事業の産前産後養育支援ヘルプ、自費サービス等にヘルパー派遣を行った。利用者数は月平均延べ158.0人、利用時間数は月平均1,187.3時間で、増加傾向である。活動方針・目標はほぼ達成しているが、ニーズに応えきれていない。今後も引き続き介護人材確保と育成を行っていききたい。

＜居住支援事業＞

居住支援事業は、職員1人とボランティア4人の体制で、住宅確保要配慮者を対象とした入居前相談と入居中の相談を実施。入居前相談は40件、9人の方の住宅を確保することができた。入居中の相談等対応件数は、103件。生活保護申請の同行、入居中のトラブルに関する相談、その他の相談に対応した。居住支援について広く知らせるため、ニュースレター創刊号と第2号を発行した。近畿大学寺川ゼミのご協力により、居住支援ネットワーク会議を毎月開催。障害者支援団体（中央むつみ会）、外国人支援団体（NGO神戸外国人救援ネット）、協力不動産店、その他の支援者の参加を得て、課題解決に向けて意見交換を行っている。

＜生活支援わいわい＞

今年度、サービス活動は、掃除、見守り、草木伐採、買い物代行、入院に関するお手伝いなど総時間49時間になった。運営委員会を月1回開催、情報を共有し、発生する問題や課題について協議・解決した。メンバーの交流・研修会は5月に網戸の張替の実技研修をした。サービスに生かす機会はなかったが、参加者はスキルアップに自信を得た。昨年度から生活支援わいわいとまごの手のサービスのすみわけが課題になっていた。そこで、生活支援わいわいのサービス対象を神戸YWCA会員・会友・神戸YWCA関係者に限ってきたが、それではサービスの依頼が増えず、したがってメンバーを増やすこともできなかった。また活動の中で、専門家ではない運営委員がコーディネートをする難しさにたびたび遭遇した。そこで9月以降、生活支援わいわい運営委員会は、今年度での活動収束の検討を始めた。サービス提供者には11月20日の交流・意見交換会で、収束を提案し意見を求めた。参加者からは、活動の趣旨には賛同しつつ、収束についての理解が得られ、2024年3月末で活動を終了することとなった。

●事業実績

まごの手職員会・プログラム・イベント等

プログラム、ミーティング等（神戸YWCA会館）	在籍数	回数
まごの手職員会	9	12

●事業データ

サービス種類			2021年度 月平均	2022年度 月平均	2023年度 月平均
居宅介護支援事業	居宅介護支援	件数	39.3	44.0	26.8
	介護予防支援/ 介護予防ケアマネジメント（委託）	件数	13.4	12.9	6.4
	件数計		52.8	56.9	33.2
訪問介護事業	訪問介護	利用時間数	364.1	468.0	503.6
		利用者数	30.4	37.2	40.9
	介護予防訪問サービス（総合事業）	利用時間数	293.7	296.1	286.1
		利用者数	48.2	49.3	48.4
	生活支援訪問サービス（総合事業）	利用時間数	0.8	0.6	1.4
		利用者数	0.5	0.5	1
障害福祉サービス（居宅介護）	利用時間数	127.5	107.5	128.7	
	利用者数	11.8	11.8	12.8	

障害福祉サービス（重度訪問介護）	利用時間数	0	1.3	3.3
	利用者数	0	0.3	1
障害福祉サービス（同行援護）	利用時間数	18	55.5	67.4
	利用者数	5.4	7.6	9.3
障害福祉地域支援事業（移動支援）	利用時間数	30.6	28.6	44.6
	利用者数	2.1	1.8	4.6
神戸市養育支援訪問事業 （産前・産後、養育支援ヘルパー派遣）	利用時間数	78.5	65.3	72.1
	利用者数	18.4	17.5	19.9
ホームヘルプ（自費）	利用時間数	46.2	67.8	65.7
	利用者数	16.2	17.3	17.5
産前産後ホームヘルプ（自費）	利用時間数	9.8	11.9	3.1
	利用者数	1.8	2.7	1.4
神戸市認知症高齢者訪問支援員派遣事業 （ほっとヘルパーサービス）	利用時間数	23.9	15.4	0
	利用者数	2.3	1.3	0
利用時間数 月平均		993.1	1,117.9	1,187.3
利用者数 月平均		137.1	143.7	158.0

* 障害福祉サービス（同行援護）に地域支援事業の就労特別支援を含む

内部研修（訪問介護事業所・全体）

開催日	内容（全て、神戸YWCA会館）	講師等	回数	出席者数
4月15日	人権の擁護及び虐待防止に関する研修	藤井かえ子	1	22
5月	介護保険制度について（レポート）		1	
7月15日	介護技術研修	小野美津江	1	8
8月19日	家事援助-調理編	守屋淑子・松岡晴子	1	18
9月16日	感染症について	藤井かえ子	1	16
10月21日	精神障害者の支援について	坂井宗月（中央むつみ会 理事長・精神保健福祉士・社会福祉士）	1	16
11月18日	認知症の方への支援について	藤井かえ子	1	13
12月16日	ヤングケアラーについて（映画鑑賞）		1	21
1月20日	緊急時対応について	藤井かえ子	1	13
2月24日	成年後見について	宇根晴美（株式会社朱晴 代表取締役・社会福祉士）	1	13

外部研修/他団体関係（訪問介護事業所）

開催日	内容	主催	回数	出席者数
6月24日 7月15日、29日	2023年度YWCA職員研修会（1～3年目） （オンライン）	日本YWCA	1	1
2月20日、22日、 3月23日	認知症介護基礎研修	認知症介護研究・研修仙台センター	3	3
①6月1日、2日、8日、 9日 ②11月9日、10日、 16日、17日	同行援護従業者養成研修（一般課程）	中山視覚福祉財団 神戸アイライト協会	2	2
9月19日、10月25日、 11月17日	サービス提供責任者研修会	神戸市介護サービス協会	1	1
3月14日	令和6年度介護報酬改定について （オンライン）	一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会	1	1

実習受け入れ

開催日	内容	実習指導	回数	参加者数	実習生数
2月5日	神戸女子大学 2023年度福祉実習教育研究会	-	1	1	-

2月6日、7日、8日、 13日、14日	神戸女子大学 介護福祉実習	藤井かえ子	1	-	2
------------------------	---------------	-------	---	---	---

内部研修・外部研修（居宅介護支援事業所）

開催日	内容（場所など）	主催	回数	出席者数
4月15日	人権の擁護及び虐待防止に関する研修 （神戸YWCA会館）	神戸YWCA まごの手	1	2
6月13日	中央区内病院と在宅支援者の交流会 ～お互いを知ることから始めよう医療・ 介護の連携と協働～ （兵庫県医師会館）	中央区医師会、 中央区在宅医療・介護連携推進協議会 中央区医療介護サポートセンター	1	1
1月19日	中央区ケアマネジャー&訪問介護 交流研修会 （神戸市中央区役所）	中央区ケアマネジャー連絡会	1	1
1月17日、18日、 25日、26日、30日 2月7日、8日、14日 21日、3月9日、 3月10日、14日	主任介護支援専門員研修 （オンライン）	一般社団法人兵庫県介護支援専門員協会	1	1

入居前の支援（居住支援事業）

窓口	2022年度 相談者数	2023年度 相談者数
相談窓口（電話）	33	40
面談（来所・訪問等）	25	28
不動産店への同行・コーディネート	18	23
住宅確保（成約）	11	9
緊急連絡先の確保	2	2

入居中の支援（居住支援事業）

支援内容	2022年度 回数（利用者数）	2023年度 回数（利用者数）
見守り・生活支援・入居中の相談等	88（18）	103（9）
社会参加のための支援・他団体との連携等	（3）	（2）

ミーティング・その他（居住支援事業）

名称	在籍数	回数
居住支援相談事業ミーティング （神戸YWCA会館）	7	11
居住支援ネットワーク会議 （オンライン） 主催：神戸YWCAまごの手、近畿大学建築学部寺川研究室	—	12
ニュースレターの発行（4月、11月）	—	2

内部研修（居住支援事業）

開催日	内容（場所）	講師等	回数	出席者数
9月11日	生活福祉資金について （灘区社会福祉協議会）	灘区社会福祉協議会	1	7

外部研修／他団体関係（居住支援事業）

開催日	内容（場所）	主催	回数	神戸Y出席者数 （総数）
7月18日	障害者の居住支援に関する勉強会 （三宮研修センター）	神戸市居住支援協議会	1	3
8月8日	令和5年度居住支援委員会拡大会議 （ラッセホール）	ひょうご住まいづくり協議会	1	2
9月1日、28日	居住支援研修会 （オンライン）	全国居住支援法人協議会	1	1

外部研修/他団体関係（全体）

開催日	内容（場所）	主催	回数	延出席 者数
6月25日	ひょうごん福祉ネット総会 （東灘地域助け合いネットワーク）	ひょうごん福祉ネット	1	1
5月11日、7月7日、9月7日、 11月2日、1月11日、3月3日	ひょうごん福祉ネット定例会 （東灘地域助け合いネットワーク）	ひょうごん福祉ネット	6	5
4月15日、6月8日、11月2日	ひょうごん福祉ネット役員会 （東灘地域助け合いネットワーク）	ひょうごん福祉ネット	3	3
6月16日	神戸市シルバーサービス事業者連絡会 定期総会・記念講演会 「介護現場の課題と今後の法改正等の動向」 （BBプラザ神戸）	神戸市シルバーサービス 事業者連絡会	1	1
7月6日	ひょうごん福祉ネット居住支援部会 （東灘地域助け合いネットワーク）	ひょうごん福祉ネット	1	1
8月29日	ひょうごん福祉ネット居住支援部会 研修会 （こうべまちづくり会館）	神戸コミュニティラボ こうべ福祉あいねっと	1	1
10月6日	ひょうごん福祉ネット居場所部会 見学会 （市営兵庫駅西住宅第二集会所・市営キャナル タウン南住宅集会所）	ひょうごん福祉ネット	1	1
2月20日	ひょうごん福祉ネット生活支援部会 学習交流会 （東灘地域助け合いネットワーク）	ひょうごん福祉ネット	1	2
3月14日	社協協オンラインセミナー 令和6年度介護報酬改定について （オンライン）	一般財団法人 医療経済研究・社会保険 福祉協会	1	1

サービス提供実績（生活支援わいわい）

月	活動 日数	活動 件数	利用者	活動場所	サービス内容	提供者 延べ人数	延べ 時間
4月	7	7	3	東灘、灘、 須磨	掃除・整理、外出同行	7	7
5月	7	7	3	東灘、灘、 須磨	掃除・整理、外出同行、見守りの援助	7	7
6月	9	9	3	東灘、灘、 須磨	掃除・整理、外出同行、見守りの援助	9	12
7月	6	6	3	東灘、灘、 須磨	掃除・整理、見守りの援助	4	6
8月	4	4	3	東灘、灘、 須磨	掃除・整理、買い物	4	4
9月	1	1	1	東灘	掃除・整理	1	1
10月	2	2	1	東灘、灘、 中央	掃除・整理	2	2

11月	3	3	2	東灘、中央	掃除・整理、植木雑草処理	3	4
12月	2	2	1	東灘	掃除・整理	2	2
1月	2	2	1	東灘	掃除・整理	2	2
2月	0	0	0			0	0
3月	2	2	1	東灘、須磨	掃除・整理	2	2
活動件数：45件 提供者延べ人数：43人 活動時間：49時間							

ミーティング（生活支援わいわい）

ミーティング（神戸YWCA会館）	在籍数	回数	延出席人数	平均参加数
運営委員会	5	9	40	4

研修交流会（生活支援わいわい）

研修（全て神戸YWCA会館）	開催日	出席者数
サービス提供者研修	5月13日	9
サービス提供者交流・意見交換会	11月20日	11

神戸YWCA保育園

園長	梅川玲子
保育士	西岡奈美、溝平明日香、鎌田直子、竹田孝子、青木直子、江崎公代（看護師） 金山千代子（～8月）、鈴木浩子（～5月）、日高泉（10～11月）中村結香（12月～）
地域子育て支援員	西本玲子
管理栄養士	渡辺民乃
調理員	平山みほ（栄養士）、溝口あや（調理士）
英語スタッフ	ランドル キヨシ 渕上

●事業方針・目標

- ・子どもたちの「今」を共に生きる
- ・互いの存在を大切にしながら、子育てをしている人たちを支える

●事業報告

今年度は8人の子どもたちと共に始まった。一時保育も、日本語クラスの生徒さんのお子さんを預かることで定期的な見通しがついた。4か国の子どもたちが一つの場で遊び、0、1、2歳児の世界が広がった。

新入園者への広報に関しては、卒園児の保護者や一時保育の利用者が、公園や児童館で神戸YWCA保育園のことを広め、勧めてくださったことから、10月には定員12人になり、一時保育の希望者も増えた。夕方から開く「親子の会」を少しずつ復活させ、保護者同士の交流も生まれた。家庭での様子を聞く機会にもなり、これからも継続していきたい。また、昨年度同様「わいわいダイルーム」の方たちとの交流もあり、年の離れたお友だちが会館の中にできた。

神戸YWCA保育園では、子どもたちを見守ってくださる方がどんどん増えている。保護者、職員をはじめ、会館に出入りする会員のみなさん、神戸YWCAで勉強する方たち、近隣の方たち、そして神様の大きな愛に包まれて、子どもたちは今日も笑顔で過ごしている。スタッフは、その笑顔を守っていくことに力を注いだ。

●事業実績（保育園園児数）

2023年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
1歳児	4	4	5	7	7	7	8	8	8	8	8	8
2歳児	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	8	8	9	11	11	11	12	12	12	12	12	12

神戸YWCAつどい場

若年性認知症の人たちとその仲間たちの集い カフェもぐもぐ

代表：宮田泰子

メンバー：7人

職員：塩見洋子

●活動方針・活動目標

コミュニティカフェの役割として以下のことを行う。

- ・当事者の声を聞きながら活動を進めていく。
- ・若年性認知症についての啓発活動を行う。
- ・仲間を増やす。
- ・地域に開かれたつどい場としての働きを模索する（他団体・他グループとの協働など）。

●活動報告

毎月第1土曜日、日本基督教団神戸聖愛教会の部屋を借りての活動も2年目となった。10時30分～15時まで、食事を作り、食卓を囲んで近況を語り、課題を共有しながら過ごしている。4月には生田川でのお花見散策、時には飛び入りの来客とともに食事と会話を楽しむ時間を過ごすことができた。今年は当事者を含めメンバーの健康や生活にそれぞれ大きな変化がみられたため、全員が揃う事や、外出プログラムなど特別の計画を立てることが難しい状況だった。その中、9月に、神戸YWCAの新たな活動拠点「なだのはまエイト」があるHAT神戸・灘の浜において、西灘あんしんすこやかセンターと交流したことは新たな動きとなった。3月2日、「なだのはまエイト」で、若年性認知症についての啓発と広報活動の一つである「認知症サポーター養成講座」を開いた。カフェもぐもぐとしては灘の浜で初めての開催だったが、地域の方々が多数参加され、今後の活動につなげていきたいと考えている。1年を通しての準備を経て、コロナ禍以降4年ぶりに「カフェもぐもぐだより」を発行できたことは特にうれしいことだった。この通信が他団体との交流や認知症の方々が気軽に参加できるように役立ってほしいと願っている。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	参加人数					合計
			当事者	当事者 家族	ボラン ティア	他団体等 その他	職員	
4月1日	第1回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり (炊き込みごはん・ロールケーキ) 生田川桜見物	1	1	3	1	2	8
5月6日	第2回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり (カレー・バスクケーキ) アンケートをもとに考察	1	1	3	0	1	6
6月3日	第3回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり (三食ごはん・チョコケーキ) もぐもぐだより作成について	1	1	4	0	1	7
7月1日	第4回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり (カレー・ケーキ) もぐもぐだより作成について	1	1	3	0	1	6
8月5日	第5回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり (冷やし中華・ケーキ) もぐもぐだより作成	1	1	4	0	1	7
9月2日	第6回定例会 (なだのはまエイト)	近況報告 あんしんすこやかセンター訪問 神大喫茶訪問	1	1	3	0	1	6
10月7日	第7回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり (炊き込みごはん・ケーキ) もぐもぐだよりについて・散歩	1	1	3	0	1	6
11月4日	第8回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり (カレー・チーズケーキ) 見学者と共に	1	1	3	2	1	8
12月	第9回定例会	中止	0	0	0	0	0	0

1月13日	第10回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり (中華どんぶり・ケーキ) 報告書・計画書について	1	1	3	0	1	6
2月17日	第11回定例会 (神戸聖愛教会)	近況報告、昼食づくり (三食ごはん・レモンケーキ) サポーター養成講座について	1	1	4	2	1	9
3月2日	第12回定例会 (なだのはまエイト)	サポーター養成講座準備	1	1	4	0	1	7
延参加人数 (第9回は中止のため全11回)			11	11	37	5	12	76

●実施プログラム、参加プログラム等

開催日	研修(場所)	テーマ	当事者	当事者 家族	ボラン ティア	他団体など その他	職員	合計
9月30日	灘区高齢者見守りサポーター事業 「つながりあい・なだ」養成事業 (なごさ地域福祉センター)	ワークショップを通して、地域 の方々同士で認知症について 「対話」をする	0	0	2	27	1	30
3月2日	認知症サポーター養成講座 (なだのはまエイト)	認知症を理解し、認知症の人を サポートする人を養成 講師：沖本雅子 (キャラバンメイト)	1	1	4	14	1	21
参加延べ人数			1	1	6	41	2	51

ちやいやあらんど

代表：木村文子

メンバー：1人

●活動方針・目標

- ・子育て中の家族支援、特に就学前の子どもをもつ母親の仲間づくり、リラックスできる場所づくりを支援する。
- ・参加者と共に親と子どもが楽しく集える場を創る。
- ・地域や社会を知り、つながるちやいやあらんどとする。
- ・異世代交流、異文化交流を楽しむ。

●活動報告

昨年度に引き続き、活動する会員が2人であることから、リソース不足のために活動することができなかった。企画・設営・運営などを行う「人的リソース」、親子で安心して使用できる環境を整えるための「物的リソース」、情報収集や広報など参加者を募るための「情報リソース」と全ての項目で不足があり、補填するためにミーティングを持つなども難しい年度だった。神戸YWCA会館の近隣地域に親子で参加できる場のニーズはあると聞くが、複数の会員活動とその運営を担う会員2人だけでは十分な運営を行うことができないと感じた。

次年度は活動を休止して別の活動を通じて地域や他団体から情報収集をし、再開できる準備を整えることを目指していきたい。

わいわいデイルーム (神戸市地域拠点型一般介護予防事業)

代表：新井育子、今井香織、川上和恵、高原佐美

メンバー：3人

職員：塩見洋子

●活動方針・目標

- ・新型コロナウイルス感染予防につとめて、介護予防に資するプログラムを提供する。
- ・高齢者ができるだけ長く、住宅での生き生きとした豊かな生活を送ることができるよう、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりのためのプログラムを提供する。
- ・神戸YWCAの他の事業、会員活動グループと交流することにより、多世代・多文化とのふれあいを提供する。

・地域の中で、利用者が安心して住宅生活を続けることができるよう、介護・医療・福祉などの専門職との顔の見える関係をつくり、連携を図る。

●活動報告

毎週火曜日 10時～15時、年間 47 回実施した。新リーダー1人が加わり、計 4 人でプログラムを進行した。6月に 2 人の新規登録者があったが、7月には施設入居や自宅から遠いという理由で 2 人の方が登録をやめ、現在登録者は 6 人である。5月にコロナが 5 類になり、原則マスク着用は個人の判断にゆだねる形になった（神戸市）が、基本的な感染対策は引き続き行った。専門職による介護予防講座を 12 回、音楽療法士・健康運動指導士による音楽教室・運動教室を、それぞれ 6 回行った。その他、YWCA 会員によるピアノ・リサイタルや書道教室、職員の三線演奏、マザースカレッジ企画会のストーリーテリングをはじめ、外部講師や YWCA ボランティアによるストレッチ、朗読、絵画・クラフト教室など、毎回バラエティに富んだレクリエーションを行った。9月の保育園園児との交流会ではプレゼント交換や歌を歌って過ごした。今年度から保育園の昼食の汁物をデイルームでも提供している。好評なので来年度も引き続きお願いしたい。利用者からの要望のイベントを 3 月に行い、大変喜ばれた。近隣の地域包括支援センターと連携して、登録者をさらに増やしたい。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (全て神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名 サービス責任者名	参加人数	
				利用者	スタッフ
4月4日	第1回わいわいデイルーム	介護予防講座/理学療法士 家庭で役立つリハビリテーション	講師：大津谷厚子 サービス責任者：新井育子	6	5
4月11日	第2回わいわいデイルーム	クラフト/折り紙講師 兜、鯉のぼり	講師：徳岡和美 サービス責任者：新井育子	5	5
4月18日	第3回わいわいデイルーム	書道	講師：大工原則子 サービス責任者：川上和恵	5	5
4月25日	第4回わいわいデイルーム	運動教室/健康運動指導士	講師：狩山晴奈 サービス責任者：高原佐美	5	5
5月9日	第5回わいわいデイルーム	介護予防講座/歯科衛生士 健康寿命を延ばそう	講師：池崎雅代 サービス責任者：今井香織	4	6
5月16日	第6回わいわいデイルーム	クラフト デジタル時計	講師：青柳 正 サービス責任者：川上和恵	6	4
5月23日	第7回わいわいデイルーム	カロムゲーム	講師：徳岡和美 サービス責任者：高原佐美	4	5
5月30日	第8回わいわいデイルーム	音楽教室/音楽療法士	講師：坂本明子 サービス責任者：新井育子	4	4
6月6日	第9回わいわいデイルーム	介護予防講座/管理栄養士 認知症予防の食事とアロマ効果	講師：村山美知 サービス責任者：新井育子	7	4
6月13日	第10回わいわいデイルーム	笑いヨガ	講師：植田あや子 サービス責任者：今井香織	5	5
6月20日	第11回わいわいデイルーム	運動教室/健康運動指導士	講師：狩山晴奈 サービス責任者：川上和恵	6	5
6月27日	第12回わいわいデイルーム	クラフト/折り紙講師 カエル	講師：徳岡和美 サービス責任者：新井育子	6	5
7月4日	第13回わいわいデイルーム	介護予防講座/看護師 夏の健康管理	講師：東雲診療所 サービス責任者：高原佐美	6	5
7月11日	第14回わいわいデイルーム	音楽教室/音楽療法士	講師：坂本明子 サービス責任者：今井香織	6	5
7月18日	第15回わいわいデイルーム	アートで認知症予防	講師：杉原伊津子 サービス責任者：川上和恵	4	5
7月25日	第16回わいわいデイルーム	ストレッチ体操	講師：中川郷子 サービス責任者：新井育子	5	5
8月8日	第17回わいわいデイルーム	介護予防講座/薬剤師 良い睡眠をとるために	講師：吉岡佳子 サービス責任者：今井香織	4	5
8月15日	第18回わいわいデイルーム	警報発令のため中止		0	0

8月22日	第19回わいわいダイルム	朗読 クラフト/風鈴づくり	講師：田中和美 サービス責任者：新井育子	3	4
8月29日	第20回わいわいダイルム	運動教室/健康運動指導士	講師：小野美津江 サービス責任者：川上和恵	4	5
9月5日	第21回わいわいダイルム	介護予防講座/看護師 感染症予防のポイント	講師：東雲診療所 サービス責任者：高原佐美	4	5
9月12日	第22回わいわいダイルム	音楽教室/音楽療法士	講師：坂本明子 サービス責任者：今井香織	5	6
9月19日	第23回わいわいダイルム	クラフト 保育園との交流	講師：青柳 正 サービス責任者：川上和恵	4	5
9月26日	第24回わいわいダイルム	ゲーム大会	講師：新井育子 サービス責任者：新井育子	6	4
10月3日	第25回わいわいダイルム	介護予防講座/理学療法士 介護予防と健康予防	講師：大津谷厚子 サービス責任者：高原佐美	5	5
10月10日	第26回わいわいダイルム	笑いヨガ	講師：植田あや子 サービス責任者：今井香織	5	6
10月17日	第27回わいわいダイルム	運動教室/健康運動指導士	講師：狩山晴奈 サービス責任者：川上和恵	6	4
10月24日	第28回わいわいダイルム	アートで認知症予防	講師：杉原伊津子 サービス責任者：新井育子	6	4
10月31日	第29回わいわいダイルム	ストーリーテリング その他 体操・ゲーム	語り：貫名裕子 サービス責任者：高原佐美	4	4
11月7日	第30回わいわいダイルム	介護予防講座 体力測定・生活チェック	講師：神戸市派遣 サービス責任者：川上和恵	5	5
11月14日	第31回わいわいダイルム	音楽教室/音楽療法士	講師：坂本明子 サービス責任者：今井香織	5	5
11月21日	第32回わいわいダイルム	みかんアート	講師：青柳 正 サービス責任者：高原佐美	5	5
11月28日	第33回わいわいダイルム	クラフト 粘土で干支づくり	講師：新井育子 サービス責任者：新井育子	5	5
12月5日	第34回わいわいダイルム	介護予防講座/看護師 冬の健康管理 運動教室/健康運動指導士	講師：東雲診療所 講師：狩山晴奈 サービス責任者：川上和恵	5	5
12月12日	第35回わいわいダイルム	はがきに絵を描こう	講師：みなとあすか サービス責任者：高原佐美	5	6
12月19日	第36回わいわいダイルム	クリスマス会	サービス責任者：今井香織	5	5
1月9日	第37回わいわいダイルム	音楽教室/音楽療法士	講師：坂本明子 サービス責任者：川上和恵	5	6
1月16日	第38回わいわいダイルム	書道	講師：大工原則子 サービス責任者：高原佐美	4	4
1月23日	第39回わいわいダイルム	カロムゲーム	講師：徳岡和美 サービス責任者：今井香織	5	6
1月30日	第40回わいわいダイルム	ストレッチ体操	講師：中川郷子 サービス責任者：高原佐美	4	4
2月6日	第41回わいわいダイルム	介護予防講座/看護師 こころの健康	講師：東雲診療所 サービス責任者：川上和恵	4	4
2月13日	第42回わいわいダイルム	介護予防講座/管理栄養士 認知症予防の食習慣	講師：蔭久美希 サービス責任者：今井香織	5	5
2月20日	第43回わいわいダイルム	運動教室/健康運動指導士	講師：狩山晴奈 サービス責任者：高原佐美	5	5
2月27日	第44回わいわいダイルム	腹話術と手品 体操・ゲーム	パフォーマー：小林厚子 サービス責任者：新井育子	5	5

3月5日	第45回わいわいデイルーム	介護予防講座/言語聴覚士 嚙下と聞こえ	講師：秋山佳子 サービス責任者：高原佐美	3	5
3月12日	第46回わいわいデイルーム	音楽教室/音楽療法士	講師：坂本明子 サービス責任者：今井香織	4	4
3月19日	第47回わいわいデイルーム	ストーリーテリング その他 体操・ゲーム	語り：貫名裕子 サービス責任者：高原佐美	5	5
3月26日	第48回わいわいデイルーム	ストレッチ体操	講師：中川郷子 サービス責任者：新井育子	4	5
延参加人数（第18回は中止のため全47回）				228	229

木曜カフェ

代表：宮田泰子

メンバー：5人

職員：塩見洋子

●活動方針・目標

目的：YWCAの交流スペースとしての活用。会員、ボランティア仲間、神戸YWCAに関わる人々、地域の人々が気軽に立ち寄り、過ごす事の出来るスペースとする。

●活動報告

毎月第2・第4木曜日 13時30分～15時30分まで会館5階でオープン。4月から20回開催した。会場は参加者が自由にゆっくり過ごせるように心がけた。カフェの参加者は雑誌、レコード、CD、ピアノの生演奏などを楽しみながら三々五々お茶の時間を過ごした。

神戸YWCA会館を訪問した人や職員のティータイムなど、カフェを目的に来られる方が少しずつ増えてきている。日本語コースの学生、グループ活動、関係団体などの交流スペースとしての利用も増えている。特に9月～12月は、日本語コースの講座にあわせてカフェを12時30分からオープンした。くつろいで昼食をとったり、日本語を使ってみる場所として、多くの受講生が利用した。

今年は神戸YWCAの新しい地域活動の拠点である「なだのはまエイト」で4回のバザーにカフェとして参加した。新しい運営スタッフも加わり活動が充実してきている。

目標の一つである地域に開かれたカフェとなるために、地域の人々の参加を促すような特徴・催しなどのきっかけづくりが課題となっている。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	参加人数		合計
			来訪者	スタッフ	
4月13日	第1回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	8	3	11
4月27日	第2回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	14	2	16
5月11日	第3回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	7	4	11
5月25日	第4回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	11	3	14
6月8日	第5回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	10	3	13
6月22日	第6回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	10	3	13
7月13日	第7回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	11	4	15
7月27日	第8回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	3	2	5
9月14日	第9回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	8	3	11
9月28日	第10回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	12	3	15
10月12日	第11回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	22	3	25
10月26日	第12回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	19	3	22
11月9日	第13回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	17	3	20
12月7日	第14回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	16	3	19
12月21日	第15回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	9	4	13
1月11日	第16回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	14	4	18

2月8日	第17回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	16	2	18
2月22日	第18回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	10	2	12
3月14日	第19回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	8	4	12
3月28日	第20回木曜カフェ	レコード・CDで音楽鑑賞	5	3	8
延参加人数（全20プログラム）			230	61	291

●参加プログラム

開催日	イベント（場所）	テーマ・主な内容	木曜カフェメンバー
5月28日、6月25日 9月24日、12月3日	なだのはま・わいわいバザー （なだのはまエイト）	喫茶コーナーを担当	延12

<解散グループ>

●わいわい食事会

・休会中であつたが今年度をもって解散する。

旧分室で2020年度から「わいわいランチ」や「わいわい亭」のボランティアの方々と共に始めた「わいわい食事会」は、コロナ禍で活動内容が制限され、なんどもプログラムの中止を余儀なくされたが、2021年12月まで開催した。しかし2022年3月の分室閉館に伴い、休会が続き、今年度で解散する。

Ⅲ 多文化共生事業（「多文化共生センター」所管）

「国際理解を推進し、多文化共生社会の実現を目指す事業」を中心となって実施していく。

神戸YWCA学院

学院長：西本玲子

日本語コース

講師：櫻井かおり（主任）、小川佐由理（副主任）、天川啓子、荒木真也、小野木愛、貫上育代、小澤恭子、後藤範子、小林麻紀子、斎藤明子、澤村典子、清水恵子、田中いずみ、豊田茜、福井武司、松岡久美子、枝松奈美、森田純一、吉田郁子

担当職員：千葉真理子

●事業方針・目標

「安心して地域で暮らせる」ための日本語教育を行う。

●事業報告

神戸YWCA会館では、プライベート（2人でのセミプライベート含む）、「定住外国人向け日本語・就業力スキルアップコース」、外国にルーツを持つ子どものための日本語支援「子ども日本語トータルサポート」を行った。会館外では、「ショファイユ幼きイエズス修道会」への派遣セミプライベートレッスンをを行った。

プライベートレッスンは、宣教師、シスター、宣教会のインターン、日本の大学に在学する大学生等が受講した。宣教活動及びその準備のための日本語、日本語能力試験対策等、個々の目的に沿った内容の日本語レッスンをを行った。

「定住外国人向け日本語・就業力スキルアップコース」では、就職を目指す在住外国人の方に、日本語とパソコンの授業を行った。神戸YWCAまごの手職員、神戸YWCA保育園職員が、各分野の専門家として授業を担当した。各部署の協力を得て、神戸YWCAの特徴を生かした特徴のあるコース内容とすることができた。

「子ども日本語トータルサポート」では、「はっぴー・すくーる」「勉強に役立つ日本語クラスとその関連プログラム」の2つのプログラムを行った。「勉強に役立つ日本語」は、昨年度までと同様に夏休みに加えて、春休みにも開催した。各プログラムには、「子ども日本語トータルサポート募金」への寄付の他、兵庫

県国際交流協会、ひょうごコミュニティ財団、中央共同募金会からの助成によって運営した。

「ショファイユ幼きイエズス修道会」への派遣セミプライベートレッスンは、2人が受講した。シスターを目指す若い女性への日本語教育の担当は、宣教師の日本語教育とともに、神戸YWCAの日本語コースの特色を生かした事業といえる。

今年度も、日本語プライベートレッスン受講者が、レッスン中の託児に神戸YWCA保育園を利用した。また、休憩や日本人との交流に木曜カフェを利用した。

●事業実績

コース名	内容・期間	クラス数	在籍者数	回数	講師数
プライベートレッスン	4月1日～3月31日	16	延20	—	7

委託等事業名	プログラム名・期間	クラス数	在籍者／参加者数	回数など	講師数	
兵庫県国際交流協会（助成） 「外国人県民・児童生徒の居場所づくり事業」	勉強に役立つ日本語クラス 7月31日～8月10日	8	16	1コース	8	
ひょうごコミュニティ財団（助成） ひょうご市民活動応援基金	はっぴー・すくーる	1	44	11回	5	
中央共同募金会 「外国にルーツがある人々への支援活動応援助成」	勉強に役立つ日本語とその関連プログラム	教科に役立つ日本語	1	3	3回	2
		勉強に役立つ日本語	3	6	12回	4
		支援者のための勉強会	—	26	1回	3
兵庫県委託訓練事業（委託） 離職者等再就職訓練事業 定住外国人向け職業訓練コース	定住外国人向け 日本語・就業カススキルアップコース 9月15日～12月14日	1	9	1コース	12	

日本語教師養成コース

講師：櫻井かおり（主任）、小川佐由理（副主任）、小林麻紀子、斎藤明子、福井武司、水野マリ子
担当職員：千葉真理子

●事業方針・目標

国際的な広い視野を持ちながら、地域社会のニーズにも対応して日本語を教えることのできる日本語教師を養成する。

●事業報告

5月～6月に、5回連続講座、「日本語ボランティア養成講座入門編・春」を行った。8月に帝塚山学院大学と神戸女学院大学、2024年2月に甲南女子大学、計3大学の日本語教育実習を受け入れた。

アドバイザー派遣事業として、明石文化国際創生財団、小野市国際交流協会、三木市国際交流協会の日本語ボランティア向け講座の講師を担当した。神戸市立兵庫中学校北分校、尼崎市立成良中学校琴城分校、神戸市立丸山中学校西野分校の「日本語指導研修」の講師を担当した。

やさしい日本語講座事業として、三木市教育委員会、明石市コミュニティ・生涯学習課、一般社団法人三木青年会議所、明石市コミュニティ・センター、大阪府国際交流財団、神戸市私立保育園連盟ふたば会、二宮保育園、加東市市民協働部人権協働課、神戸大学大学院保健学研究科、神戸海星女子学院中学校高等学校での出張講座を行った。

●事業実績

コース名	内容・期間 * () は主催	クラス数	在籍者数	回数	講師数
日本語教育実習 受け入れ	帝塚山学院大学 7月31日～8月4日	1	5	1	-
	神戸女学院大学 7月31日～8月4日	1	8	1	-
	甲南女子大学 2月17日、19～22日	1	5	1	-
日本語ボランティア 養成講座	「入門編」春 5月27日～6月24日	1	11	1	1
アドバイザー派遣	日本語学習支援ボランティア養成講座 1月13日、20日、2月3日、10日、3月2日、9日 (明石文化国際創生財団)	1	-	1	1
	日本語教室ボランティア養成講座 8月7日 (三木市国際交流協会)	1	-	1	1
	日本語教室ボランティア養成講座 9月23日 (小野市国際交流協会)	1	-	1	1
	日本語指導研修 4月4日、7月5日、9月6日、11月19日 (神戸市立兵庫中学校北分校)	1	-	1	1
	日本語指導研修 7月7日 7月14日 (神戸市立丸山中学校西野分校)	1	-	1	1
	日本語指導研修 6月15日、6月16日、9月30日 (尼崎市立成良中学校琴城分校)	1	-	1	1
講師派遣 やさしい日本語講座	やさしい日本語講座 9月9日 (三木市教育委員会)	1	-	1	1
	やさしい日本語講座 7月3日 (一般社団法人三木青年会議所)	1	-	1	1
	やさしい日本語講座 4月21日 (明石市コミュニティ・生涯学習課)	1	-	1	1
	やさしい日本語講座 於：朝霧コミセン 5月31日 (明石市コミュニティ・センター/明石文化国際創生財団)	1	-	1	1
	やさしい日本語講座 於：二見コミセン 6月24日 (明石市コミュニティ・センター/明石文化国際創生財団)	1	-	1	1
	やさしい日本語講座 於：望海コミセン 2月17日 (明石市コミュニティ・センター/明石文化国際創生財団)	1	-	1	1
	やさしい日本語講座 於：江井島コミセン 10月14日 (明石市コミュニティ・センター/明石文化国際創生財団)	1	-	1	1
	やさしい日本語研修 9月20日 (大阪府国際交流財団)	1	-	1	1
	やさしい日本語研修 10月13日 (大阪府国際交流財団)	1	-	1	1
	保育園で使う「やさしい日本語」 10月23日 (神戸市私立保育園連盟 ふたば会)	1	-	1	1
	保育園で使う「やさしい日本語」 10月16日 (二宮保育園)	1	-	1	1
	やさしい日本語講座 8月4日 1月12日 (加東市市民協働部人権協働課)	1	-	1	1
	やさしい日本語研修 9月27日 (神戸大学大学院保健学研究科)	1	-	1	1
	やさしい日本語講座6月12日 (神戸海星女子学院中学校高等学校)	1	-	1	1

外国語コース

講師：バラティ・スレシュチャンドラ、ダン・クローン、ポール・ボテロ、ドック・ケイン、
デレク・ニヘイ、リッキー・バーネット、ロヘラ・キシヨル・プリティ、土井川佳世子、日方京子、
呉権盈、香山珠実里

職員：秋月啓子

●事業方針・目標

- ・国際理解の手段としての外国語を学ぶ場を提供する。
- ・国際理解、多文化共生を進めるプログラムを提供する。
- ・受講生のニーズに応えたクラス・プログラム運営に努める。

●事業報告

レギュラーコースは、英語2クラスを3学期とも開講したが、韓国語1クラスは講師探しに苦勞し、冬学期は開講できなかった。プライベートコースは、新しい受講生が1人増えた。カスタムコースでクラスとして開講できない海外帰国生2人のレッスンをプライベートレッスンとして行った。カスタムコースは「シニア英会話クラス」を3学期とも開講した。

オフキャンパスは、「コープカルチャー宝塚・英会話A・Bクラス」はコープこうべがカルチャー事業を閉じることになり、2023年12月をもって終了した。「兵庫県英会話Dクラス（年20回）」は7月13日から開講した。

公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校の英語講義（2年生クラス）は、カリキュラム変更により、前年度の半分の7回となった。独立行政法人労働者健康安全機構関西労災看護専門学校の英語講義（後期）は、10月16日より昨年同様の日本人講師1人と、復帰したネイティブの旧講師1人が担当した。

●事業実績

コース名	講座・プログラム名	クラス数	在籍者数	回数	講師数
レギュラーコース	春・秋・冬学期各12回（英語2・韓国語1）	3	12	延93	4
プライベートコース	英語	2	4～5	延63	2
カスタムコース	シニア英会話	1	4	36	1
オフキャンパス	兵庫県英会話Dクラス	1	8	20	1
	コープカルチャー宝塚（ネイティブ英会話A・B）	2	15	72	1
	公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校	1	70	9	1
	独立行政法人労働者健康安全機構関西労災看護専門学校	2	70	31	2

文化教養コース

講師：岩崎ひかる

職員：秋月啓子

●事業方針・目標

芸術・文化に触れ、エンパワメントされる講座を企画する。

●事業報告

ピアノ、発声・歌唱とも、神戸YWCA会館5階チャペルのグランドピアノでゆっくりレッスンを受けることができる。今年度も引き続き1対1のプライベートレッスンを実施し、3～5人の受講生が毎月第2・第4月曜日の夕方～夜にレッスンを続けることができた。体験レッスン1人の申し込みがあった。

●事業実績

コース名（神戸YWCA会館）	講座・プログラム名	在籍者数	回数	講師
ピアノ教室	プライベートレッスン	1	23	岩崎ひかる
発声&歌唱教室	プライベートレッスン	4	23	岩崎ひかる

多文化共生ボランティア部

休部中

IV 活動共通事業

運営委員会

会 長：木村文子
副会長：斎藤明子、宮田泰子
会 計：岩切幸子
書 記：住田サーラ
職 員：西本玲子

●活動方針・目標

- ・明確化されたミッションに沿った活動を行う。
- ・しなやかで強く、安心して活動できる組織に基づき、活動を推進する。
- ・ユース・ミドル・シニアのすべての世代が協働できる組織づくりを進める。

●活動報告

2023年度は「一人ひとりが大切にされる社会」をビジョンとし、「つながりの意味を深め、共に動こう」を活動目標として、3年目となる新組織の運営にあたった。運営委員のメンバーは5人、月1回の委員会を持った。オンライン形式の利便性を活かし、対面形式との併用で行われている。

「平和と人権センター」では、「世界・平和」「環境・暮らし」「ユース・エンパワーメント」各委員会において、活動の温度差はあるものの、それぞれの活動に取り組んだ。また、会員間のメールでの情報共有の場として「つながるプロジェクト」を継続して行っている。

6月に「キックオフ・ミーティング」を開催した。各グループ活動からの報告・アピールと共に、神戸YWCAの会費検討に際しての資料説明、今後のスケジュールを共有した。8月には全会員に向けて「会費アンケート」を実施した。グループ活動の場にも出て行き、できるだけ丁寧な説明に努めた。10月の「オープン・ミーティング」では、各グループの所属委員会の発表、所属委員会メンバーで来年度プロジェクトの生み出しワークショップを実施した。結果、3つの新しいプロジェクトが誕生し、具体的な企画づくりに入っている。なお、新しい仲間募集のためのボランティア説明会は実施できていない。2023年度は4グループが解散した。それに伴いグループ活動規程を整えた。

全国YWCA関連では、日本YWCA中央委員会が久しぶりに対面で開催され（於：大阪YWCA）、会長と総幹事が参加した。日本YWCA主催のオンライン研修が多数開催され、会員に広報すると共に、運営委員も参加し、内容を共有した。4市YWCA（京都・大阪・名古屋・神戸）に関する動きは、今年度も、ほぼみられなかった。

●活動実績

開催日	委員会 (神戸YWCA会館と オンライン)	主な議事内容など	参加 人数	延参加 人数 (全回数)	平均 参加 人数
3月11日	第1回委員会	新旧運営委員の引き継ぎ事項確認、役員選出、委員会開催方法および日程決定、プログラム担当決定、委員会メンバー募集チラシの件	7	68 (全12回)	5
4月8日	第2回委員会	キックオフミーティング内容協議、2022年度運営委員会事業報告の確認、委員会メンバー募集チラシ決定	6		
5月13日	第3回委員会	日本YWCA研修参加費の件、キックオフミーティング内容、「セーフスペース」にどう取り組むかの検討、賛同の件など	5		
6月10日	第4回委員会	キックオフミーティング振り返り、会費アンケートの内容協議、今後の作業スケジュール、「セーフスペース」にどう取り組むかの検討、神戸YWCA全体行事への参加確認など	4		
7月8日	第5回委員会	日本YWCA研修プログラムへの参加調整、会費アンケートの素案チーム結成、アンケート回収方法、オープンミーティングの目的確認など	5		
9月9日	第6回委員会	会費アンケート回収の進捗、各グループと所属委員会の件、オープンミーティング内容協議など	6		
10月14日	第7回委員会	オープンミーティング振り返り、定期会員集会までのスケジュール確認、2024年度ビジョン、ミッション、目標の件など	6		

11月11日	第8回委員会	会費改定に関する素案検討、委員会運営チームの役割確認と動かし方、賛同の件など	6		
12月9日	第9回委員会	会費改定に関する素案検討、休会中グループの件、運営委員会23年度報告と24年度計画、定期会員集会までのスケジュール確認、賛同の件など	6		
1月13日	第10回委員会	新会員制度の提案書検討、休会中グループの件、定期会員集会の議事項目とタイムスケジュール、運営委員会23年度報告と24年度計画、能登半島地震の支援募金送付先など	5		
2月3日	第11回委員会	定期会員集会に向けて各議事内容の承認（前回議事録、運営委員会活動報告及び計画、会員活動の活動報告と会計報告、計画案および予算案の承認、新会員制度、グループ活動規程）、当日タイムスケジュール、発議担当者など	6		
3月14日	新旧運営委員会	定期会員集会振り返り、新旧運営委員の引き継ぎ事項確認、役員選出、委員会開催方法および日程決定、プログラム担当決定、各委員会公募案内の件など	6		

●実施プログラム

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA会館とオンライン)	テーマ・主な内容	参加人数
6月10日	キックオフ・ミーティング	各グループ紹介、会費検討（他市YWCAの現状）、今後のスケジュール	13
10月14日	オープン・ミーティング	委員会制度・所属委員会の発表、ワークショップ「次年度プロジェクトを作ってみよう」、委員会運営チームの決定、今後のスケジュール	15
3月9日	第104回定期会員集会	理事会報告、前回議事録承認、2023年度事業報告・会計報告、会費の件、2024年度事業計画・予算、2024年度運営委員・指名委員選出、2024年度標語聖句決定	出席22 委任状 50
	午後プログラム 大阪YWCA RUSVの活動について ～包括的性教育を通して、若者をエンパワメント！～	講師：永嶋里香（大阪YWCA） 協力：日本YWCA人権・ジェンダー委員会「出前講座」	22
延参加人数（全4プログラム）			122

●日本YWCA・他市YWCA主催プログラムへの参加

開催日	プログラム・イベント名	テーマ・主な内容	神戸YWCA 参加人数
5月27日	加盟YWCA中央委員会 (大阪YWCA)	日本YWCA2022年度事業報告および決算、2023年度事業計画と予算の承認、ワールドカフェ「各委員会の課題」	2
	日本YWCA主催／各種研修 (オンライン)	①YWCAのアイデンティティ研修（5月11日、10月12日）、 ②会長、副会長、書記、会計担当者研修（6月19日、10月23日）、 ③財政研修（11月21日）	12
7月7日 8月1日	第3期LA「多様な人々が集う居場所づくり」 (オンライン)	函館、呉、平塚、横浜、福岡、京都の事例から学ぶ	3
9月23日	京都YWCA100周年記念式典 (京都プライトンホテル)		1
10月9日	名古屋YWCA90周年記念式典 (名古屋YWCA)		1
延参加人数（全5プログラム）			19

定期会員集会準備会

代表：川関敏恵

メンバー：3人

職員：西本玲子

●活動方針・目標

会員活動の意思決定機関である定期会員集会が滞りなく、かつ適正に開催されるよう、準備・運用を行う。

●活動報告

第104回定期会員集会に向けて、集会準備全般と当日進行を行った。

●活動実績

開催日	委員会 (神戸YWCA会館)	主な議事内容など	参加 人数	延参加 人数 (全回数)	平均 参加 人数
12月16日	第1回委員会	代表決定、第103回定期会員集会の振り返り、 第104回集会の開催方法について確認、 集会当日担当者と依頼者の決定	5	30 (全6回)	5
1月17日	第2回委員会	午後プログラムの内容および昼食について、 集会当日担当者の確認、出欠ハガキの内容確認、 今後のスケジュールの確認	5		
	作業	議案資料の校正作業	2		
1月27日	第3回委員会	午後プログラムの内容および昼食について、 集会当日担当者の最終確認	5		
	作業	議案資料の校正作業	2		
2月1日	作業	出欠ハガキ発送	3		
2月22日	作業	議案資料発送	4		
3月8日	準備	会場設営など	4		
3月9日	第104回定期会員集会	*運営委員会欄に記載			

指名委員会

代表：鶴崎祥子

メンバー：5人

職員：西本玲子

●活動方針・目標

定期会員集会に向けて、会員の中から運営委員および指名委員を指名する。

●活動報告

運営委員の推薦および指名委員の推薦を行った。運営委員定員6人を満たすためには3人の推薦者が必要だったが、2人の推薦者を挙げるのみとなり、1人欠員となった。

●活動実績

開催日	委員会 (神戸YWCA会館)	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均 参加人数
11月29日	第1回委員会	5	17 (全3回)	5
12月11日	第2回委員会	6		
1月11日	第3回委員会	6		

会員委員会

代表：鶴崎祥子

メンバー：2人

職員：西本玲子

●活動方針・活動目標

神戸YWCA会員の親睦のために活動する。

●活動報告

誕生日カードの発送（会員・会友・賛助員のお誕生日に合わせてカードを送る）は、メンバーのお一人の力で、今年度も継続できた。

キリスト教基盤委員会

代表：宮田泰子

メンバー：8人

職員：西本玲子

●活動方針・活動目標

神戸YWCAにおけるキリスト教基盤を理解するための活動を推進する。

●活動報告

コロナ後の今年度は、事業計画に沿って4月より活動を再開した。

4月15日（土）午後「笑いで復活～輝くいのちを喜ぶ!」をテーマにイースターのつどいが持たれた。イースターの意味、笑いヨガ、フラダンス、歌、お茶タイムと、心も身体もほぐれる楽しい時となった。6月30日（金）午後「ムーミンの国フィンランドから～マルクスさんを囲んで話そう!」の集まりが神戸YWCA会館5階で持たれた。神戸YWCA学院日本語コースで勉強中の宣教師マルクス・スリャティエさんとキアさんご夫妻に、「聖書の信憑性」をテーマにお話しいただき、YWCAならではの交流と学びの時となった。11月14日（火）の神戸YMCA・YWCA合同祈禱週礼拝では、神戸YMCAチャペルにおいて「種から花へ～手を取り合って、希望と愛を育てましょう」をテーマに、日本キリスト教団甲子園教会の大仁田拓朗牧師から「人をいかに言葉」とのタイトルでメッセージをいただいた。

神戸YWCAクリスマスが12月2日（土）に神戸YWCA会館で開催された。ウクライナ、ガザでの戦争など、今年は特に平和について祈りたい、命を尊ぶわたしたちでありたいとの願いから、会員の戦争中の話に加えて、「平和を求める祈り」をリタニー（連禱）でつないだ。今年はメンバーが焼いたケーキ、クリスマスマーケットやお茶の時間もあり、和やかな親睦の時となった。

他団体との共催プログラム・世界祈禱日は、2024年3月1日（金）在日大韓基督教会神戸教会を会場として開催された。「あなた方に勧めます・・・愛を持って互いに忍耐しなさい。」との今年のテーマのもとパレスチナからのメッセージを聞き、参加者は心から平和を祈り求める時となった。

●活動実績

開催日	委員会 (全て、 神戸YWCA会館)	主な議事内容など	参加 人数	延参加 人数	平均 参加人数
6月15日	第1回委員会	メンバー紹介、下半期プログラム確認、「マルクスさんを 囲んで話そう」企画確認、聖書を読む会の課題について	9	68 (11回)	6
10月25日	第2回委員会	YMCA・YWCA合同祈禱週日程テーマ確認、 神戸YWCAクリスマス意見交換・日程・内容決定、グリー ティングカード・他市Yへのクリスマスカード等企画	9		
11月14日	第3回委員会	合同祈禱週礼拝報告と振り返り、神戸YWCAクリスマス 礼拝リタニー確認、プログラム内容確認（全体及び当日ス ケジュールと役割分担、クリスマスマーケット内容、クリ スマスカード・グリーティングカード内容決定等）	7		
11月25日	クリスマス作業日	会館飾りつけ、地域YWCAへのクリスマスカード作成	7		
11月29日	クリスマス作業日	29日ケーキ焼き（神戸聖愛教会）	3		
11月30日	クリスマス作業日	30日ケーキ袋詰め	4		
12月1日	クリスマス作業日	クリスマス前日準備	4		
12月20日	第4回委員会	クリスマス企画報告と振り返り、2023年度事業報告・2024 年度事業計画と予算について、24年度年間聖句募集の件、 世界祈禱日日程及び準備について	4		

1月10日	第5回委員会	2024年度年間聖句候補を決定、23年度クリスマス献金使途決定、世界祈祷日担当者決定、24年イースター日程決定、23年度事業報告・24年度事業計画について協議	7		
2月7日	第6回委員会	世界祈祷日のシナリオ、当日スケジュール確認、イースター企画「パレスチナ問題とキリスト教」（内容検討、広報、講座運営スケジュール等）	6		
3月16日	第7回委員会	世界祈祷日（報告、次年度について確認） イースター企画（内容確認、講師交渉報告、当日担当）、次年度委員確認、聖書を読む会の課題について協議	8		

●実施プログラム

開催日	プログラム・イベント名 (全て、神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月15日	神戸YWCAイースター 笑いで復活 ～輝くいのちを喜ぶ！	・イースターのお話 ・笑いヨガとフラダンス ・お茶	谷合公江 (神戸YWCA会員)	13
6月30日	ムーミンの国フィンランドから マルクスさんを囲んで 話そう！	・「聖書の信憑性について」 ・フィンランドについて ・お茶タイム（フィンランドのお菓子をいただきながら）	マルクス・スリヤティエ キーア・スリヤティエ (フィンランドルーテル 宣教会宣教師)	13
12月2日	神戸YWCAクリスマス ～平和を願って祈る～	・クリスマス礼拝（メッセージとリタニー（連祷）） ・お茶とクリスマスマーケット	メッセージ：柴田富士子 (神戸YWCA会員)	20

●他団体との協働プログラム

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
11月14日	神戸YMCA/神戸YWCA 合同祈祷週合同礼拝 (神戸YMCAチャペル)	テーマ：種から花へ～手を取り合って 希望と愛を育てましょう～ メッセージ：「人を生かすことば」	大仁田拓朗 (日本キリスト教団 甲子園教会牧師)	26 (神戸Yは 8)
3月1日	神戸・阪神地区 世界祈祷日礼拝 (在日大韓基督教会神戸教会)	パレスチナからのメッセージ 「あなた方に勧めます。・・・愛を もって互いに忍耐なさい」	メッセージ：韓世一 (在日大韓基督教会 神戸教会牧師)	74 (神戸Yは 5)
1月24日	世界祈祷日 第1回実行委員会 (在日大韓基督教会神戸教会)	2024年世界祈祷日プログラムのための 確認と役割分担		3
2月7日	世界祈祷日 第2回実行委員会 (在日大韓基督教会神戸教会)	2024年世界祈祷日プログラムのための 確認と役割分担		3
3月21日	世界祈祷日 第3回実行委員会 (在日大韓基督教会神戸教会)	2024年世界祈祷日プログラムのための 確認と役割分担		3

HAT 神戸・灘の浜プロジェクト

メンバー：11人

職員：西本玲子、寺内真子、秋月啓子、伝明地敦子

●活動方針・活動目標

神戸YWCAは、「市営住宅コミュニティ活性化事業（モデル事業）」の事業者として神戸市から選定された。2023年4月から市営HAT神戸・灘の浜住宅南集会所（通称「なだのはまエイト」）を活動拠点として活用

し、管理運営を行う。入居者の少子高齢化等の課題に対応し、地域コミュニティの活性化を図る。

●活動報告

4月、地域へのお披露目を目的にオープニングセレモニーを開催した。地域で様々な役割を担う団体や人に参加いただくことができた。神戸市はじめ神戸YWCAからの挨拶、そしておおまきちまきさんのコンサートを行った（参加者35人）。

5月から「貸室」「バザー」「地域活性化」の3チームをスタートした。貸室は、なぎさシニアクラブの「懐かしの歌声」（月1回）を中心に利用いただいているが、まだまだ利用が少ない。外部団体への広報を進めたい。バザーは、5月、6月、9月、12月と4回開催した。8月からは、NPO法人いちじま丹波太郎と協力し、毎週金曜日に野菜市とミニミニバザーを開催している。当初は数人の参加だったが、住民のロコミと新鮮な食材の力で、現在では20人ほどの方々が利用している。互いに、少しずつ顔を覚え、名前を覚えて、野菜販売の「場」が一つのつどいの場となりつつある。地域活性化チームは、毎月第3日曜日の地域清掃終了後の時間を利用して「集会所オープンデー」を実施。プログラムはなく、茶果を準備し、つどい、おしゃべりを楽しんでいただく場である。少しずつ新しい方も参加して下さるようになっていく。

HAT神戸・灘の浜において神戸YWCAは新参の活動団体であるが、住民の声を聴きながら、必要に応じていけたらと願っている。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外なだのはまエイト)	講師／参加者等	参加人数	参加人数 (メンバー)
4月22日	オープニングセレモニー	コンサート：おおまきちまき 参加：地域住民、神戸市、8番館自治会、西灘あんしんすこやかセンター、なぎさふれあいまちづくり協議会、灘区社会福祉協議会、神戸YMCA、HAT神戸福音ルーテル教会、はつと子ども園、東灘助け合いネットワーク 協力：近畿大学建築学部地域マネジメント研究室寺川ゼミ	26	9
5月28日 6月25日 9月24日 12月3日	なだのはま・わいわいバザー	協力団体：ほっとすてーしょん、あしの会、あおちゃんのおもちや、福島YWCA、エム・シーシー食品株式会社、六甲バター株式会社、近畿大学建築学部地域マネジメント研修室寺川ゼミ	延294	延75
毎週金曜日 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	野菜市とミニミニバザー (全29回/延448人)	NPO法人いちじま丹波太郎	延34 延56 延55 延42 延48 延46 延59 延108	延11 延17 延15 延11 延11 延12 延9 延24
8月19日	なぎさ夏祭り (摩耶海岸通公園広場)	主催：なぎさふれあいまちづくり協議会	800	5
第3日曜日 9月～3月	なだのはまエイト オープンハウス (全7回)	1月は「つぶやきカフェ」開催(1月21日) つぶやき拾いワークショップを実施した。 参加：11人/メンバー7人 協力：寺川政司(近畿大学建築学部地域マネジメント研究室准教授)	延50	延30
6月～3月	貸室 (全18回)	*「施設貸与」にも報告	延159	
毎週金曜日	なだのはまエイト管理			1

開催日	委員会 (神戸YWCA会館)	主な議事内容など	参加 人数	延参加 人数	平均 参加人数
3月20日	第1回委員会	各チームの連絡報告、チーム同士の協力体制の確認	9	80 (10回)	8
4月7日	第2回委員会	〃	11		
4月28日	第3回委員会	〃	7		
6月5日	第4回委員会	〃	9		
7月3日	第5回委員会	〃	7		
9月8日	第6回委員会	〃	5		
10月30日	第7回委員会	〃	8		
11月27日	第8回委員会	〃	5		
12月18日	第9回委員会	〃	10		
1月15日	第10回委員会	〃	9		

V 広報・ファンドレイジング

機関紙編集委員会

代表：岩切 幸子

メンバー：2人

職員：秋月 啓子

●活動方針・目標

会員、会友、賛助員、他市YWCA、神戸にある主なキリスト教会、関係団体はじめ、広く一般に神戸YWCAの活動を伝えるために持続可能な形で機関紙を発行する。

●活動報告

機関紙を年3回(7月、11月、2月号)各700部を発行した。経費削減のため発行回数と部数を削減、希望者には郵送からメールでの配信への切り替えに努めた。それに関わる作業と時間も縮小できた。

内容として、1面のトップ記事は、7月号「はじまりました！なだのはまエイト」(神戸YWCA総幹事・西本玲子)、11月号「こころのケア～あとリエ・たらちねから～」(認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね・矢吹優美子)、2月号は「日々の暮らしの中で感じるジェンダーのこと」(神戸YWCA会員・森恭子)を掲載した。2面の企画として、「子ども日本語トータルサポート」「オープンミーティング」「オンライン講座～入管に民主主義＝法の支配はあるのか」を取りあげ、募金の呼びかけや、運営委員会による会員組織への理解と実践活動について報告した。連載記事は、新企画に「エルサルバドル伝書鳩」(福田百)、「金曜日の、なだのはまエイト」(平山芳子)を、継続企画として「まごの手ヘルパー徒然記」「たてごと」を掲載した。また新たな取り組みとして、会員活動報告を編集委員会でまとめて執筆するようにした。

●活動実績

開催日	委員会 (神戸YWCA会館)	主な議事内容など	参加 人数	延参加人数 (全回数)	平均 参加人数
5月8日	第1回委員会	・4・5月号ふりかえり、 ・7月号企画と編集スケジュール	4	12 (全3回)	4
10月2日	第2回委員会(オンライン)	・7月号ふりかえり ・11月号企画と編集スケジュール	4		
12月18日	第3回委員会(オンライン)	・2023年度活動報告 ・2024年度活動計画と予算 ・11月号ふりかえり ・2月号企画と編集スケジュール	4		

開催日	プログラム・イベント名 (神戸YWCA会館)	テーマ・主な内容	参加人数
5月22日	7月号作業	生原稿チェック	4
6月5日	7月号作業	レイアウトチェック	4
6月12日	7月号作業	最終校正	4

6月26日	7月号作業	発送	4
10月30日	11月号作業	生原稿チェック	4
11月6日	11月号作業	レイアウトチェック	4
11月13日	11月号作業	最終校正	4
11月20日	11月号作業	発送	4
1月29日	2月号作業	生原稿チェック	4
2月5日	2月号作業	レイアウトチェック	4
2月13日	2月号作業	最終校正	4
2月26日	2月号作業	発送	4
延参加人数（全12プログラム）			48

ファンドレイジング実行委員会

代表：宮田泰子

メンバー：1人

職員：秋月啓子

●活動方針・目標

- ・会員活動の持続可能なファンドレイジングの形を検討および実施する。
- ・ファンド・広報について情報収集に努め、神戸YWCAを知ってもらう機会を増やす。

●活動報告

今年度はミーティングを開くことができなかった。「YWCAオリジナルチャリティー・ドリップコーヒー」は、2024年2月中旬までに賞味期限を延ばすよう発注したが、会館でのイベントや行事が少なく、思うように売れなかったため、完売は難しかった。1月に入り、500袋を「被災地NGO協働センター」を通じ、能登半島地震被災地へ寄付した。春井さんの天然はちみつは継続的に売れている。ドリップコーヒーと同じ理由で、コストコ商品の仕入れと販売も大幅に縮小した。会館での物品販売は、購入するメンバーが決まってくるので限界がある。

活動メンバーが少なく、大きなイベントなどの企画は難しいが、できる形でのファンドレイジングを模索したい。

施設貸与

メンバー：宮田泰子

職員：西本玲子、秋月啓子、伝明地敦子

●活動方針・目標

神戸YWCAの施設を公益に資する団体等に貸与することで、公益事業を推進する。

●活動報告

2023年度の施設貸与は、神戸YWCA会館と「なだのはまエイト（市営HAT神戸・灘の浜住宅南集会所）」の2箇所を実施した。初年度であり、特に神戸YWCA会館の利用者は少なかった。次年度はさらに広報の強めたい。

●活動実績

開催日	プログラム・イベント名	利用団体	利用人数
6月～3月	貸室 (なだのはまエイト)	HAT神戸灘の浜地区市民グループ、神戸YWCAグループ活動、理事会、評議員会など (全18回)	延159
	貸室 (神戸YWCA会館)	市民グループ (全1回)	9

VI 法人

理事会

理事長	平山芳子
理事	大工原則子、野村春美、三浦啓子、宮田泰子
常務理事	西本玲子
業務執行理事	寺内真子

●方針・目標

- ・神戸YWCAの財政構造及び組織構造改革に取り組み、安定的な事業運営を確立する。
- ・神戸YWCAの中長期ビジョンを明確にする。

●事業報告

2023年6月、評議員会からの選任を受け、転居による1人の退任を除く7人の理事が、新たに2年の任期をスタートした。

- ①神戸YWCA財政は、コロナ禍により2021年度に前年度比で約1,000万円の収入減となり、未だそこからの回復を図っている。
 - ・2020年12月に実施した神戸YWCA会債は今年度返済の契約であったが、会債協力者に返済期限の延長をお願いした。
 - ・予算を基に毎月の各事業にて収入3%増、支出20%減の取り組みを継続したことで、資金の流れが明らかになり、資金繰りの見通しが立つようになったが、構造の改善策については次年度に持ち越すことになった。
- ②日本YWCA主催「ガバナンス研修」に参加し、理事会として取り組むべき課題を明確にした。
 - ・「人事チーム」「財政チーム」を新たに設置し、理事会決議の判断材料を増やし、理事会そのものの時間短縮を図ることができた。また、介護事業と保育事業を統括する「総合サポートセンター」内の代表者で各事業の課題を共有し、担当者が本来の働きに集中できる体制づくりに着手した。組織構造改革をさらに進めて、「人」「財」が適切に配置された安定的な神戸YWCAとしたい。
- ③神戸市の委託を受け「市営住宅コミュニティ活性化事業」のHAT神戸・灘の浜住宅南集会所の管理運営事業者として、4月より新規事業を開始した。プロジェクトメンバーによって、今年度は地域・地域住民の状況について学ぶことを重点的な取り組みとし、今後の具体的な活動に繋げられるよう模索がなされている。同プログラムにおいて貸室事業を開始することから、兵庫県公益法人室には2023年3月、新たに施設貸与事業を加えることを申請し、承認を受けた。

●事業実績 ()は2024年4月以降実施の理事会

開催日	理事会（神戸YWCA会館）	出席理事数	出席監事数	陪席数
5月20日	2022年度第11回理事会	7	2	1
6月17日	2023年度 第1回理事会	7	2	
7月29日	2023年度 第2回理事会	7	2	
9月25日	2023年度 第3回理事会	7	2	
11月27日	2023年度 第4回理事会	7	2	
12月16日	2023年度 第5回理事会	7	2	
1月22日	2023年度 第6回理事会	7	2	
2月10日	2023年度 第7回理事会	7	2	
2月26日	2023年度 第8回理事会	7	2	
3月25日	2023年度 第9回理事会	7	2	
(4月15日)	(2023年度 第10回理事会)	(7)	(2)	
(5月4日)	(2023年度 第11回理事会)	(7)	(2)	
(5月20日)	(2023年度 第12回理事会)	(7)	(2)	
(6月1日)	(2023年度 第13回理事会)	(7)	(2)	

●財政チーム／人事チーム

	開催日	理事会（神戸YWCA会館）	出席理事数	出席監事数
財政チーム	8月28日	第1回ミーティング	5	2
	9月16日	第2回ミーティング	6	2
	10月23日	第3回ミーティング	7	2

人事チーム	10月16日	第1回ミーティング	7	2
	11月6日	第2回ミーティング	7	2
	12月11日	第3回ミーティング	7	2
	1月6日	第4回ミーティング	7	0
財政・人事チーム	3月18日	第4回財政・第5回人事チームミーティング	7	2

監 事

監事 川邊比呂子、川関敏恵

評議員会

評議員 川島恵美、島田恒、下村俊子、関本雅子、鶴崎祥子、寺澤京子、馬場一郎、藤野達也、松浦裕子

●実績

開催日	評議員会 (なだのはまエイト)	出席評議員数	欠席評議員数	出席役員
6月17日	第13回定時評議員会	8	1	3

会勢報告

2024年3月31日現在

会員・会友数

		2021年	2022年	2023年	増減
成人会員		115	104	104	0
年少会員		0	0	1	1
合計		115	104	105	1
賛助員	個人	16	15	15	0
	法人	1	0	0	0
会友		9	11	12	1

会員・会友年齢別

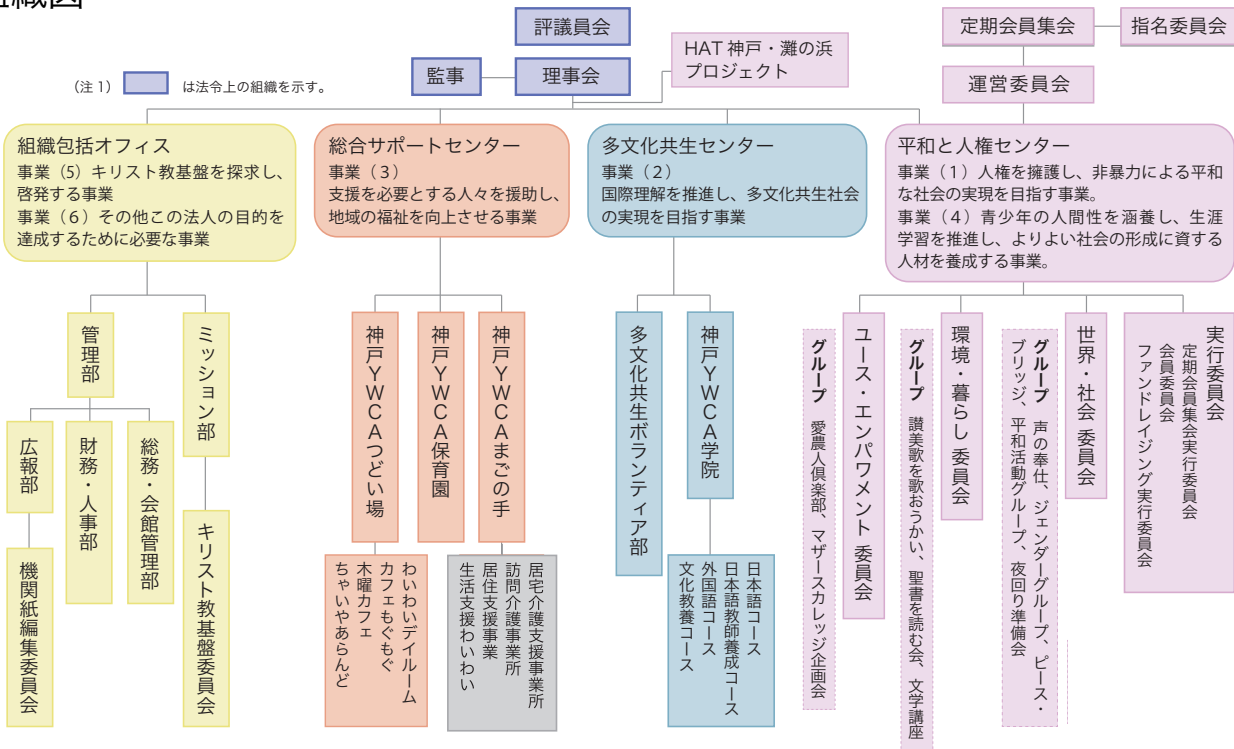
年齢別	会員	会友
12歳未満	0	
12～17歳	1	
18～24歳	0	
25～29歳	2	1
30～39歳	1	
40～49歳	10	2
50～59歳	12	2
60～69歳	22	1
70～79歳	28	3
80歳以上	27	2
不明	2	1
合計	105	12

職員数

	女	男	合計
幹事職	7		7
まごの手職員	7		7
保育園職員	3		3
パート職員 (総務)	1		1
パート職員 (まごの手)	30	4	34
パート職員 (保育園・保育)	5		5
パート職員 (保育園・調理)	5		5
学院講師	15	5	20
合計	73	9	82

2023 年度 公益財団法人神戸 YWCA 組織図

<目的>
定款第3条 この法人は、キリスト教の基盤に立って、青少年及び女性の人格向上を図り、教養を深めるとともに、人間の尊厳を守り、奉仕の精神を養うことにより、平和と正義の実現に寄与することを目的とする。



■評議員

川島 恵美
島田 恒
下村 俊子
関本 雅子
鶴崎 祥子
寺澤 京子
馬場 一郎
藤野 達也
松浦 裕子

■運営委員

会長 木村 文子
副会長 斎藤 明子、宮田 泰子
書記 住田 サーラ
会計 岩切 幸子

■理事

理事長 平山 芳子
理事 大工原 則子
理事 野村 春美
理事 三浦 啓子
理事 宮田 泰子
常務理事 西本 玲子
業務執行理事 寺内 真子

■監事

監事 川関 敏恵
監事 川邊 比呂子

■職員 (幹事職)

総幹事 西本 玲子
責任幹事 寺内 真子
幹事 秋月 啓子
幹事 梅川 玲子
幹事 塩見 洋子
幹事 伝明地 敦子
幹事補 千葉 真理子

貸借対照表

令和 6 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 ・ 預 金	4,514,272	7,770,114	△3,255,842
未 収 金	10,003,366	11,846,531	△1,843,165
貯 蔵 品	24,526	23,413	1,113
立 替 金	3,000	1,478	1,522
流 動 資 産 合 計	14,545,164	19,641,536	△5,096,372
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
基 本 財 産	1,000,000	1,000,000	
基 本 財 産 合 計	1,000,000	1,000,000	0
(2) 特 定 資 産			
他 特 定 資 産	2,724,958	1,263,958	1,461,000
特 定 資 産 合 計	2,724,958	1,263,958	1,461,000
(3) そ の 他 固 定 資 産			
建 物	60,160,805	64,161,683	△4,000,878
什 器 備 品	75,610	149,646	△74,036
土 地	95,000,000	95,000,000	
電 話 加 入 権	284,320	284,320	
保 証 金	140,000	100,000	40,000
そ の 他 固 定 資 産 合 計	155,660,735	159,695,649	△4,034,914
固 定 資 産 合 計	159,385,693	161,959,607	△2,573,914
資 産 合 計	173,930,857	181,601,143	△7,670,286
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	2,829,518	4,209,334	△1,379,816
前 受 金	1,181,789	486,200	695,589
預 り 金	559,071	813,781	△254,710
未 払 法 人 税 等	72,000		72,000
流 動 負 債 合 計	4,642,378	5,509,315	△866,937
2 固 定 負 債			
長 期 借 入 金	30,304,000	33,351,000	△3,047,000
固 定 負 債 合 計	30,304,000	33,351,000	△3,047,000
負 債 合 計	34,946,378	38,860,315	△3,913,937
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
地 方 公 共 団 体 補 助 金	9,819,600	10,637,900	△818,300
民 間 助 成 金	1,000,000		1,000,000
寄 付 金	1,724,958	1,263,958	461,000
指 定 正 味 財 産 合 計	108,544,558	107,901,858	642,700

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(内基本財産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
(内特定資産への充当額)	(1,724,958)	(1,263,958)	(461,000)
2 一 般 正 味 財 産	30,439,921	34,838,970	△4,399,049
(内特定資産への充当額)	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)
正 味 財 産 合 計	138,984,479	142,740,828	△3,756,349
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	173,930,857	181,601,143	△7,670,286

附属明細書

自 令和5年 4月 1日 至 令和6年 3月 31日

公益財団法人 神戸YWCA

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金 (UFJ 信託/神戸)	1,000,000	0	0	1,000,000
	基本財産計	1,000,000	0	0	1,000,000
特定資産	民間助成金 中央共同募金会	0	1,000,000	0	1,000,000
	指定寄付金 公益事業のために	0	700,000	200,000	500,000
	居住支援事業	130,000	0	36,000	94,000
	被災者支援	29,000	0	0	29,000
	指導者養成	501,120	0	3,000	498,120
	神戸 YWCA 学院	534,720	0	0	534,720
	神戸 YWCA 保育園	69,118	0	0	69,118
	特定資産合計	1,263,958	1,700,000	239,000	2,724,958

2. 引当金の明細

引当金はありません。

正味財産増減計算書

令和 5 年 4 月 1 日から 令和 6 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(20)	(20)	(0)
基本財産受取利息	20	20	
② 受取会費	(1,178,000)	(1,329,000)	(Δ151,000)
正会員受取会費	1,035,000	1,212,000	Δ177,000
特別会員受取会費	123,000	117,000	6,000
賛助会員受取会費	20,000		20,000
③ 事業収益	(109,146,941)	(102,515,629)	(6,631,312)
事業収益	2,513,029	2,662,204	Δ149,175
介護事業収益	57,495,373	57,516,129	Δ20,756
教育事業収益	8,930,309	11,566,456	Δ2,636,147
受託事業収益	2,667,060	2,963,400	Δ296,340
保育事業収益	37,541,170	27,807,440	9,733,730
④ 受取補助金等	(6,491,028)	(7,564,142)	(Δ1,073,114)
受取国庫補助金	2,295,328	3,750,656	Δ1,455,328
受取地方公共団体補助金	886,400	2,553,086	Δ1,666,686
受取民間補助金	50,000	200,000	Δ150,000
受取地方公共団体助成金	150,000	220,000	Δ70,000
受取民間助成金	2,291,000	22,100	2,268,900
受取補助金等振替額	818,300	818,300	
⑤ 受取寄付金	(6,877,306)	(6,050,047)	(827,259)
受取寄付金	6,638,306	5,674,047	964,259
受取寄付金振替額	239,000	376,000	Δ137,000
⑥ 雑収益	(855,015)	(1,156,035)	(Δ301,020)
受取利息	39	46	Δ7
雑収益	854,976	1,155,989	Δ301,013
経常収益計	124,548,310	118,614,873	5,933,437
(2) 経常費用			
① 事業費用			
事業経費	(122,459,855)	(112,362,403)	(10,097,452)
給料手当	80,629,381	76,455,948	4,173,433
賞与	6,383,413	4,075,266	2,308,147
退職給付費用	2,043,590	1,770,583	273,007
法定福利費	9,364,732	7,101,142	2,263,590
福利厚生費	329,071	491,033	Δ161,962
通勤交通費	4,794,390	4,859,131	Δ64,741
旅費交通費	222,954	181,592	41,362
通信運搬費	1,076,915	1,251,567	Δ174,652

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
減価償却費	4,056,008	4,120,644	△64,636
消耗什器備品費	90,200	17,705	72,495
消耗品費	1,178,565	936,791	241,774
修繕費	534,075	235,367	298,708
印刷製本費	108,935	274,364	△165,429
光熱水料費	1,406,766	1,327,122	79,644
賃借料	976,547	1,204,691	△228,144
保険料	410,318	255,380	154,938
諸謝金	1,039,588	794,146	245,442
租税公課	1,641,845	1,611,159	30,686
委託費	1,726,873	1,477,950	248,923
雑費	45,136	631,887	△586,751
支払手数料	916,220	503,807	412,413
原材料費	1,394,719	1,308,403	86,316
フ・ロ・ク・ラム費	377,551	376,535	1,016
保健衛生費	194,297	44,682	149,615
諸会費	5,000		5,000
会議費	116		116
教材費	126,260	183,933	△57,673
渉外費	4,300		4,300
新聞図書費	14,190	18,965	△4,775
地代家賃	1,367,900	852,610	515,290
事業費計	122,459,855	112,362,403	10,097,452
② 管理費			
給料手当	2,177,622	5,203,898	△3,026,276
賞与手当	301,512	204,204	97,308
退職給付費用	174,410	466,097	△291,687
法定福利費	566,157	1,273,817	△707,660
福利厚生費	6,584	16,531	△9,947
通勤交通費	72,656	165,090	△92,434
旅費交通費	511	1,258	△747
通信運搬費	59,803	134,188	△74,385
減価償却費	454,276	128,812	325,464
消耗品費	59,376	86,449	△27,073
修繕費	15,837	46,933	△31,096
印刷製本費	13,051	37,707	△24,656
光熱水料費	147,492	419,920	△272,428
賃借料	58,253	141,570	△83,317
保険料	43,621	72,485	△28,864
租税公課	177,305	41,441	135,864

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
支 払 負 担 金	498,100	203,500	294,600
支 払 寄 付 金	76,000	20,000	56,000
支 払 利 息	156,548	175,002	△18,454
雑 費	4,333	18,105	△13,772
諸 会 費	131,000	103,000	28,000
フ ° ロ ク ° ラ ム 費	1,087		1,087
原 材 料 費	3,690	74,271	△70,581
保 健 衛 生 費		104,529	△104,529
研 修 費	90,840	133,690	△42,850
委 託 費	1,089,109	1,631,845	△542,736
支 払 手 数 料	36,331	102,022	△65,691
管 理 費 計	6,415,504	11,006,364	△4,590,860
経 常 費 用 計	128,875,359	123,368,767	5,506,592
評価損益等調整前当期経常増減額	△4,327,049	△4,753,894	426,845
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△4,327,049	△4,753,894	426,845
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△4,327,049	△4,753,894	426,845
税引前当期一般正味財産増減額	△4,327,049	△4,753,894	426,845
法人税、住民税及び事業税	72,000	0	72,000
当期一般正味財産増減額	△4,399,049	△4,753,894	354,845
一般正味財産期首残高	34,838,970	39,592,864	△4,753,894
一般正味財産期末残高	30,439,921	34,838,970	△4,399,049
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
① 受 取 補 助 金 等	(2,000,000)	(0)	(2,000,000)
受 取 民 間 助 成 金	2,000,000		2,000,000
② 受 取 寄 付 金	(700,000)	(△241,000)	(941,000)
受 取 寄 付 金	700,000	△241,000	941,000
③ 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	(△2,057,300)	(△818,300)	(△1,239,000)
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△2,057,300	△818,300	△1,239,000
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	642,700	△1,059,300	1,702,000
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	107,901,858	108,961,158	△1,059,300
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	108,544,558	107,901,858	642,700
III 正 味 財 産 期 末 残 高	138,984,479	142,740,828	△3,756,349

正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人 神戸YWCA			自 令和 5年 4月 1日
			至 令和 6年 3月31日
			(単位 : 円)
勘 定 科 目	収益目的事業会計	公益目的事業会計	法人会計
〔基本財産運用益〕	0	0	20
基本財産受取利息	0	0	20
〔受取会費〕	0	0	1,178,000
正会員受取会費	0	0	1,035,000
特別会員受取会費	0	0	123,000
賛助会員受取会費	0	0	20,000
〔事業収益〕	1,500	109,007,041	138,400
事業収益	1,500	2,373,129	138,400
介護事業収益	0	57,495,373	0
教育事業収益	0	8,930,309	0
受託事業収益	0	2,667,060	0
保育事業収益	0	37,541,170	0
〔受取補助金等〕	0	6,491,028	0
受取国庫補助金	0	2,295,328	0
受取地方公団補助金	0	886,400	0
受取民間補助金	0	50,000	0
受取地方公団助成金	0	150,000	0
受取民間助成金	0	2,291,000	0
受取補助金振替	0	818,300	0
〔受取寄付金〕	0	2,027,764	4,849,542
受取寄付金	0	1,788,764	4,849,542
受取寄付金振替	0	239,000	0
〔雑収益〕	0	748,374	106,641
受取利息	0	2	37
雑収益	0	748,372	106,604
【経常収益】	1,500	118,274,207	6,272,603

正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人 神戸YWCA			自 令和 5年 4月 1日
			至 令和 6年 3月31日
			(単位 : 円)
勘 定 科 目	収益目的事業会計	公益目的事業会計	法人会計
〔事業費〕			
給料手当	203,516	80,425,865	0
賞与	28,178	6,355,235	0
退職給付費用	16,300	2,027,290	0
法定福利費	52,912	9,311,820	0
福利厚生費	615	328,456	0
通勤交通費	6,790	4,787,600	0
旅費交通費	48	222,906	0
通信運搬費	5,589	1,071,326	0
減価償却費	0	4,056,008	0
消耗什器備品費	0	90,200	0
消耗品費	5,549	1,173,016	0
修繕費	1,480	532,595	0
印刷製本費	1,220	107,715	0
光熱水料費	13,784	1,392,982	0
賃借料	5,445	971,102	0
保険料	4,077	406,241	0
諸謝金	0	1,039,588	0
租税公課	0	1,641,845	0
委託費	17,541	1,709,332	0
雑費	405	44,731	0
支払手数料	3,395	912,825	0
原材料費	345	1,394,374	0
ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ 費	102	377,449	0
保健衛生費	0	194,297	0
諸会費	0	5,000	0
会議費	0	116	0
教材費	0	126,260	0
渉外費	0	4,300	0
新聞図書費	0	14,190	0
地代家賃	0	1,367,900	0
事業費計	367,291	122,092,564	0

正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人 神戸YWCA			自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月 31日 (単位 : 円)
勘 定 科 目	収益目的事業会計	公益目的事業会計	法人会計
〔管理費〕			
給料手当	0	0	2,177,622
賞与	0	0	301,512
退職給付費用	0	0	174,410
法定福利費	0	0	566,157
福利厚生費	0	0	6,584
通勤交通費	0	0	72,656
旅費交通費	0	0	511
通信運搬費	0	0	59,803
減価償却費	0	0	454,276
消耗品費	0	0	59,376
修繕費	0	0	15,837
印刷製本費	0	0	13,051
光熱水料費	0	0	147,492
賃借料	0	0	58,253
保険料	0	0	43,621
租税公課	0	0	177,305
支払負担金	0	0	498,100
支払寄付金	0	0	76,000
支払利息	0	0	156,548
雑費	0	0	4,333
諸会費	0	0	131,000
ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ 費	0	0	1,087
原材料費	0	0	3,690
研修費	0	0	90,840
委託費	0	0	1,089,109
支払手数料	0	0	36,331
管 理 費 計	0	0	6,415,504

正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人 神戸YWCA			
			自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日 (単位 : 円)
勘 定 科 目	収益目的事業会計	公益目的事業会計	法人会計
【経常費用】	367,291	122,092,564	6,415,504
【調整前当期経常増減額】	△ 365,791	△ 3,818,357	△ 142,901
【当期経常増減額】	△ 365,791	△ 3,818,357	△ 142,901
【税前当期一般正財増減】	△ 365,791	△ 3,818,357	△ 142,901
法人税、住民税及び事業税	72,000	0	0
【当期一般正味財産増減】	△ 437,791	△ 3,818,357	△ 142,901
【一般正味財産期首残高】	0	70,719,083	△ 35,880,113
《 一般正味財産期末残高 》	△ 437,791	66,900,726	△ 36,023,014
受取民間助成金	0	2,000,000	0
受取寄付金	0	700,000	0
【指定正味財産増加】	0	2,700,000	0
一振地方公団補助金	0	△ 818,300	0
一振民間助成金	0	△ 1,000,000	0
一振寄付金	0	△ 239,000	0
【一般正味財産への振替額】	0	△ 2,057,300	0
《 当期指定正味財産増減額 》	0	642,700	0
【指定正味財産期首残高】	0	11,901,858	96,000,000
《 指定正味財産期末残高 》	0	12,544,558	96,000,000
《 正味財産期末残高 》	△ 437,791	79,445,284	59,976,986

正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人 神戸YWCA		自 令和5年 4月1日
		至 令和6年 3月31日
		(単位：円)
勘定科目	内部取引等消去	合計
〔基本財産運用益〕		20
基本財産受取利息		20
〔受取会費〕		1,178,000
正会員受取会費		1,035,000
特別会員受取会費		123,000
賛助会員受取会費		20,000
〔事業収益〕		109,146,941
事業収益		2,513,029
介護事業収益		57,495,373
教育事業収益		8,930,309
受託事業収益		2,667,060
保育事業収益		37,541,170
〔受取補助金等〕		6,491,028
受取国庫補助金		2,295,328
受取地方公団補助金		886,400
受取民間補助金		50,000
受取地方公団助成金		150,000
受取民間助成金		2,291,000
受取補助金振替		818,300
〔受取寄付金〕		6,877,306
受取寄付金		6,638,306
受取寄付金振替		239,000
〔雑収益〕		855,015
受取利息		39
雑収益		854,976
【経常収益】		124,548,310

正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人 神戸YWCA		自 令和5年 4月 1日
		至 令和6年 3月31日
		(単位 : 円)
勘 定 科 目	内部取引等消去	合 計
〔事業費〕		
給料手当		80,629,381
賞与		6,383,413
退職給付費用		2,043,590
法定福利費		9,364,732
福利厚生費		329,071
通勤交通費		4,794,390
旅費交通費		222,954
通信運搬費		1,076,915
減価償却費		4,056,008
消耗什器備品費		90,200
消耗品費		1,178,565
修繕費		534,075
印刷製本費		108,935
光熱水料費		1,406,766
賃借料		976,547
保険料		410,318
諸謝金		1,039,588
租税公課		1,641,845
委託費		1,726,873
雑費		45,136
支払手数料		916,220
原材料費		1,394,719
プロパティ費		377,551
保健衛生費		194,297
諸会費		5,000
会議費		116
教材費		126,260
渉外費		4,300
新聞図書費		14,190
地代家賃		1,367,900
事業費計		122,459,855

正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人 神戸YWCA		自 令和5年 4月1日
		至 令和6年 3月31日
		(単位：円)
勘定科目	内部取引等消去	合計
〔管理費〕		
給料手当		2,177,622
賞与		301,512
退職給付費用		174,410
法定福利費		566,157
福利厚生費		6,584
通勤交通費		72,656
旅費交通費		511
通信運搬費		59,803
減価償却費		454,276
消耗品費		59,376
修繕費		15,837
印刷製本費		13,051
光熱水料費		147,492
賃借料		58,253
保険料		43,621
租税公課		177,305
支払負担金		498,100
支払寄付金		76,000
支払利息		156,548
雑費		4,333
諸会費		131,000
プロパティ費		1,087
原材料費		3,690
研修費		90,840
委託費		1,089,109
支払手数料		36,331
管理費計		6,415,504

正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人 神戸YWCA		自 令和5年 4月1日
		至 令和6年 3月31日
		(単位：円)
勘定科目	内部取引等消去	合計
【経常費用】		128,875,359
【調整前当期経常増減額】		△ 4,327,049
【当期経常増減額】		△ 4,327,049
【税前当期一般正財増減】		△ 4,327,049
法人税、住民税及び事業税		72,000
【当期一般正味財産増減】		△ 4,399,049
【一般正味財産期首残高】		34,838,970
≪ 一般正味財産期末残高 ≫		30,439,921
受取民間助成金		2,000,000
受取寄付金		700,000
【指定正味財産増加】		2,700,000
一振地方公団補助金		△ 818,300
一振民間助成金		△ 1,000,000
一振寄付金		△ 239,000
【一般正味財産への振替額】		△ 2,057,300
≪ 当期指定正味財産増減額 ≫		642,700
【指定正味財産期首残高】		107,901,858
≪ 指定正味財産期末残高 ≫		108,544,558
≪ 正味財産期末残高 ≫		138,984,479

財務諸表に対する注記

公益財団法人 神戸YWCA 自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日

1. 重要な会計方針

一般に公正妥当と認められる公益法人の会計の慣行に準拠します。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法による減価償却を実施しています。ただし、建物については定額法で実施しています。

無形固定資産 定額法による減価償却を実施しています(電話加入権を除く)。

有形固定資産、無形固定資産ともに直接法で表示しています。

(3) リース取引の処理方法

賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税については、税込み方式によっています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりです。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	1,000,000			1,000,000
小 計	1,000,000			1,000,000
特定資産				
(民間助成金)				
社会福祉法人 中央共同募金会	0	1,000,000		1,000,000
小 計	0	1,000,000		1,000,000
(指定寄付金)				
公益事業のために	0	700,000	200,000	500,000
居住支援事業	130,000		36,000	94,000
被災者支援	29,000			29,000
指導者養成	501,120		3,000	498,120
神戸YWCA学院	534,720			534,720
神戸YWCA保育園	69,118			69,118
小 計	1,263,958	700,000	239,000	1,724,958
合 計	2,263,958	1,700,000	239,000	3,724,958

3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	1,000,000	1,000,000		
小 計	1,000,000	1,000,000		
特定資産				
(民間助成金)				
社会福祉法人 中央共同募金会	1,000,000	1,000,000		
小 計	1,000,000	1,000,000		
(指定寄付金)				
公益事業のために	500,000	500,000		
居住支援事業	94,000	94,000		
被災者支援	29,000	29,000		
指導者養成	498,120	498,120		
神戸YWCA学院	534,720	534,720		
神戸YWCA保育園	69,118	69,118		
小 計	1,724,958	1,724,958		
合 計	3,724,958	3,724,958		

財務諸表に対する注記

公益財団法人 神戸YWCA 自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	123,082,189	62,921,384	60,160,805
器具及び備品	4,140,044	4,064,434	75,610
少額特例資産	435,370	435,370	
合計	127,657,603	67,421,188	60,236,415

5. その他

職員の退職金支給にそなえるため、中小企業退職金共済制度に加入しています。

財産目録
令和 6年 3月31日現在

公益財団法人 神戸YWCA

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
流動資産			
現金	手許保管	運転資金として	383,077
普通預金	三井住友銀行 三宮支店 NO. 1015232	運転資金として	3,382,156
	同上 NO. 8350060	運転資金として	6,856
	同上 NO. 8889763	運転資金として	619,452
	振替貯金 郵貯銀行 01100-0-10298	運転資金として	113,053
	同上 14380-20680301	運転資金として	1,248
		<現・預金計>	4,505,842
その他当座資産	UFJ信託銀行神戸支店 定期預金利息	運転資金として	8,430
棚卸資産	貯蔵品/切手、はがき	共用財産	24,526
立替金	まごの手	公・会員活動	3,000
未収金	まごの手等	公・介護事業収益等	10,003,366
流動資産合計			14,545,164
固定資産			
基本財産	定期預金 UFJ信託銀行神戸支店	管理運営に資するもの 運用益を管理運営に使用	1,000,000
特定資産	民間助成金	社会福祉法人中央共同募金会	1,000,000
	指定寄付金	公益事業のために	500,000
		居住支援事業	94,000
	三井住友銀行普通預金	被災者支援	29,000
	NO.9657246 1,220,695円	指導者養成	498,120
	NO.1015232 1,504,263円	神戸YWCA学院	534,720
		神戸YWCA保育園	69,118
		<特定資産計>	2,724,958
建物	鉄骨造6階建て 会館	(共用財産)	45,500,051
		うち公益目的保有財産 84.38%	38,393,376
		うち管理運営に資するもの 15.61%	7,106,675
	会館1階 神戸YWCA保育園	公益目的保有財産	14,660,754
		<建物計>	60,160,805
土地	神戸市中央区二宮町1丁目 174.08m2	(共用財産)	95,000,000
		うち公益目的保有財産 84.38%	80,161,905
		うち管理運営に資するもの 15.61%	14,838,095
什器備品	乳児用体動モニター他	公益目的保有財産	75,608
	事務所什器備品	管理運営に資するもの	1
	防犯設備一式	管理運営に資するもの	1
		<什器備品計>	75,610
電話加入権	7口	管理運営に資するもの	284,320
保証金	タイムズ24(株)車両借受、日本管財(株) ロボット	公益目的保有財産	140,000
		<その他固定資産計>	155,660,735
固定資産合計			159,385,693
	うち公益目的保有財産		133,431,643
	うち特定資産		2,724,958
	うち管理運営に資するもの		23,229,092
資産合計			173,930,857

財産目録
令和 6年 3月31日現在

公益財団法人 神戸YWCA

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
流動負債			
未払金	まごの手 給与手当・交通費等 保育園 給食食材費等 その他	公・介護事業の person 費 公・事業費 公・事業費 <未払金計>	2,468,419 68,854 292,245 2,829,518
前受金	令和 6年度 各会費 授業料 会員活動参加費	管理運営に資する翌事業年度の会費 公・事業費 公・事業費 <前受金計>	177,000 834,389 170,400 1,181,789
預り金	役職員他 役職員他 役職員他 募金箱他	源泉所得税 住民税 社会保険料 能登半島地震災害義援金他 <預り金計>	92,039 166,900 92,532 207,600 559,071
未払法人税等	神戸県税事務所 神戸市役所	法人県民税 法人市民税 <未払法人税計>	22,000 50,000 72,000
流動負債合計			4,642,378
固定負債			
長期借入金	日本政策金融公庫 日本YWCA 神戸YWCA会債	公・保育事業設備工事費, 運転資金 公・運転資金 公・運転資金	19,304,000 1,000,000 10,000,000
固定負債合計			30,304,000
負債合計			34,946,378
正味財産			
指定正味財産	会館1階 神戸YWCA保育園 三井住友銀行普通預金 1,000,000 NO.965724 1,220,695 500,000 NO.101523 1,504,263 94,000 29,000 498,120 534,720 69,118 定期預金 UFJ信託銀行神戸支店 土地 神戸市中央区二宮町1丁目 174.08m2	地方公共団体補助金 小規模保育事業 民間助成金 社会福祉法人中央共同募金 指定寄付金 公益事業のために 指定寄付金 居住支援事業 指定寄付金 被災者支援 指定寄付金 指導者養成 指定寄付金 神戸YWCA学院 指定寄付金 神戸YWCA保育園 基本財産 <指定正味財産計>	9,819,600 1,000,000 500,000 94,000 29,000 498,120 534,720 69,118 1,000,000 95,000,000 108,544,558
一般正味財産			30,439,921
正味財産合計			138,984,479
負債及び正味財産合計			173,930,857

(注) 令和 5年度期首及び期末の公益目的保有財産額の合計は次のとおりです。

(単位:円)

期 首	153,930,274
期 末	133,431,643

2023 年度全事業寄付金内訳について

事業および活動名	寄付金額
■神戸 YWCA 法人全体のために	4,849,542
夏季募金、冬季クリスマス募金他、寄付	4,648,155
ファンレイジング実行委員会	178,960
キリスト教基盤委員会	6,427
機関紙編集委員会	16,000
■神戸 YWCA 公益目的事業	1,788,764
平和と人権センター 神福のはしごプロジェクト、平和活動グループ、ジェンダーグループ、文学講座、ピースブリッジ、100周年記念事業実行委員会、ランチレシピ本	224,000
多文化共生センター 日本語事業（子ども日本語トータルサポート） 外国語事業	308,100
総合サポートセンター 神戸 YWCA まごの手（訪問介護、居住支援、生活支援わいわい）、神戸 YWCA 保育園、つどい場事業（わいわいデイルーム、カフェもぐもぐ、木曜カフェ）、	460,674
HAT 神戸・灘の浜プロジェクト	794,990
施設貸与	1000
2023 年度寄付金受入額	6,638,306

指定寄付金について

指定先	前期末残高	当期寄付額	当期支出額	期末残高	備考
公益事業のために		700,000	200,000	500,000	日本語事業のために使用した。
居住支援事業	130,000		36,000	94,000	居住支援事業
被災者支援	29,000	0	0	29,000	
指導者養成	501,120		3000	498,120	日本 YWCA プログラム参加費として使用した。
神戸 YWCA 学院	534,720	0	0	534,720	
神戸 YWCA 保育園	69,118	0	0	69,118	

監 査 報 告 書

公益財団法人 神戸YWCA

理事長 平山 芳子 殿

令和 6年 5月 20日

公益財団法人 神戸YWCA

監 事 川 関 敏 恵

公益財団法人 神戸YWCA

監 事 川 邊 比 呂 子

私たち監事は、令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月 31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。



木漏れ日の中のお散歩（神戸YWCA保育園）



収穫を楽しむ（愛農人倶楽部）



毎月の朗読勉強会（声の奉仕）



定住外国人向け日本語・就業力スキルアップコースでの職業体験（日本語コース）



キックオフ・ミーティング（運営委員会）



神戸 YWCA ホームページ : www.kobe.ywca.or.jp/top



神戸 YWCA フェイスブックページ : www.facebook.com/kobeywca



神戸 YWCA 学院フェイスブックページ : www.facebook.com/kobeywcacollege



エックス @KobeYWCA



インスタグラム : [kobeywca](https://www.instagram.com/kobeywca) / [kobeywcacollege](https://www.instagram.com/kobeywcacollege)

公益財団法人 神戸 YWCA

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10
tel. 078-231-6201 fax. 078-231-6692
e-mail: office@kobe.ywca.or.jp
www.kobe.ywca.or.jp

YWCA

(ワイ・ダブリュー・シー・エー
(Young Women's Christian Association) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語
や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社
会参画を進め、人権や健康や環境が守られ
る平和な世界を実現する国際 NGO です。